

# 片丘小学校トイレ改修工事

塩 尻 市

図 面 リ ス ト  
片丘小学校トイレ改修工事

No.	MAP NAME	SCALE		No.	MAP NAME	SCALE		No.	MAP NAME	SCALE		No.	MAP NAME	SCALE	
		A1版	A3版			A1版	A3版			A1版	A3版			A1版	A3版
	【 建築改修 】	A1版	A3版			A1版	A3版		【 電気設備改修 】	A1版	A3版		【 機械設備改修 】	A1版	A3版
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	NON SCALE						E-01	電気設備特記仕様書	NON SCALE		M-01	機械設備特記仕様書	NON SCALE	
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)	NON SCALE						E-02	照明器具要図	NON SCALE		M-02	機械設備 凡例1	NON SCALE	
A-03	建築改修工事特記仕様書(3)	NON SCALE						E-03	特別教室 1階トイレ 電灯コンセント設備図	1:30	1:60	M-03	機械設備 凡例2	NON SCALE	
A-04	建築改修工事特記仕様書(4)	NON SCALE						E-04	特別教室 2階トイレ 電灯コンセント設備図	1:30	1:60	M-04	機械設備 機器・器具表	NON SCALE	
A-05	建築改修工事特記仕様書(5)	NON SCALE						E-05	普通教室 1・2階トイレ 電灯コンセント設備図	1:30	1:60	M-05	特別教室 1階トイレ 給排水衛生設備図	1:30	1:60
A-06	建築改修工事特記仕様書(6)	NON SCALE						E-06	給食堂トイレ 電灯コンセント設備図	1:30	1:60	M-06	特別教室 2階トイレ 給排水衛生設備図	1:30	1:60
A-07	案内図 配置図 面積表	1:2500 1:500	1:5000 1:1000					E-07	校舎棟 1階 自動火災報知設備図	1:150	1:300	M-07	普通教室 1階トイレ 給排水衛生設備図	1:30	1:60
A-08	校舎棟 1階全体平面図	1:150	1:300					E-08	校舎棟 2階 自動火災報知設備図	1:150	1:60	M-08	普通教室 2階トイレ 給排水衛生設備図	1:30	1:60
A-09	校舎棟 2階全体平面図	1:150	1:300									M-09	給食堂トイレ 給排水衛生設備図	1:30	1:60
A-10	普通教室 トイレ改修図	1:50	1:100									M-10	特別教室 1階トイレ 換気・パネルヒーター設備図	1:30	1:60
A-11	普通教室 トイレ展開図・建具表	1:50	1:100									M-11	特別教室 2階トイレ 換気・パネルヒーター設備図	1:30	1:60
A-12	特別教室 1階トイレ改修図	1:50	1:100									M-12	普通教室 1・2階トイレ 換気・パネルヒーター設備図	1:30	1:60
A-13	特別教室 1階トイレ展開図・建具表	1:50	1:100									M-13	給食堂トイレ 換気・パネルヒーター設備図	1:30	1:60
A-14	特別教室 2階トイレ改修図	1:50	1:100												
A-15	特別教室 2階トイレ展開図・建具表	1:50	1:100												
A-16	給食堂 トイレ改修図・展開図・建具表	1:50	1:100												







7 鋼製建具 (標準型鋼製建具を含む) 簡易気密型ドアレットの性能値の適用は建具表による [5.4.2][5.4.6][表5.4.1] ※適用する(適用箇所は建具表による) ・適用しない [5.4.2][5.4.6][表5.2.1] ...

17 ガラス 熱線吸収板ガラス 材料板ガラスによる種類 特性による種類 色調 ...

6 ① 基本要品質 ② 改修範囲 ③ 施工数量調査

④ 既存床の撤去及び下地補修 ⑤ 内装改修工事 ⑥ 製材 「製材の日本農林規格」による製材 [6.5.2] ...

⑦ 集材材 「集材材の日本農林規格」による造作用集材材等 [6.5.2] ⑧ 合板等 「合板の日本農林規格」による合板等 [6.5.2] ...

12 ビニル床タイル [6.8.2] 13 帯電防止床タイル張り [6.8.2] 14 誘導用、注意喚起用床材 [6.8.2] ...

21 吸音材
22 壁紙張り
23 モルタル塗り
24 タイル
25 フリーアセリアフ
26 可動間仕切
27 移動間仕切

28 トイレブース
29 階段滑止め
30 階段手すり
31 黒板及びホワイトボード
32 室名札
33 フラインド
34 フラインドボックス及びキャブボックス
35 ロールスクリーン
36 カーテン及びカーテンレール
37 天井点検口
38 床下点検口
39 くつふきマット
40 人研ぎ製法し等

41 屋内掲示板
42 しっくい塗り
⑦ 塗装業者
⑧ 材料
⑨ 下地調整・素地ごしらえ
4 錆止めの塗料塗り
⑩ 合成樹脂エポキシ樹脂系塗料 (EP)
11 珪藻土珪藻土系塗り (UC)
12 ステンレス
⑬ 木材保護塗料塗り (WP)
1 コクリートの種類及び強度、品質
2 鉄筋の種類
3 あと施工アジャスター
4 セメントの種類
5 骨材の品質
6 混和材料の種類
7 鉄筋の継手
8 鉄筋の最小かぶり厚さ
9 鉄骨の工作図

⑩ 合成樹脂エポキシ樹脂系塗料 (EP)
11 珪藻土珪藻土系塗り (UC)
12 ステンレス
⑬ 木材保護塗料塗り (WP)
1 コクリートの種類及び強度、品質
2 鉄筋の種類
3 あと施工アジャスター
4 セメントの種類
5 骨材の品質
6 混和材料の種類
7 鉄筋の継手
8 鉄筋の最小かぶり厚さ
9 鉄骨の工作図

B-2	1	コンクリートの類別及び強度、品質	レディーミクストコンクリートの類別 ※Ⅰ類・Ⅱ類	[8.1.3][表8.1.1]	B-2	14	連続縦紐ツト巻き	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの	[8.2.13]	B-2	27	耐火被覆	種別	所要性能及び適用構造区分	[8.18.2]	9	1	石綿含有建材の処理	※建築物の解体工事、アスベスト除去について、以下の基準を適用する。 ・建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針（令和2年9月8日付け 技術上の指針公示第22号） ・建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル 令和3年3月（厚生労働省、環境省） ・新石綿技術指針対応版 石綿粉じんへのばく露防止マニュアル（建設業労働災害防止協会）
		2	鉄骨製作工場	・監督員の承諾する製作工場 ・建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた ㈱日本鉄骨評価センター又は ㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場			[8.1.5]	15	鉄筋の継手			継手方法 呼び名(mm) 適用箇所	[8.3.4]	28	溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合		摩擦面の処理 ※プラスト処理 ・りん酸塩処理	[8.20.5]	2
	3	施工管理技術者	※適用する	[8.1.6]		16	鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 ・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。	[8.3.5][表8.3.6]		29	既存コンクリート面の目荒し	目荒らしの程度 ※柱・梁面 打継ぎ面の10～30%程度 ※増打ち壁増設 既存壁打継ぎ面の10～15%程度 ※平均深さ2～5mm(最大5～7mm)程度の凹部を施す ・監督員の指示による	[8.21.3]	3	石綿含有保温材等の除去	除去工法 ※粉じん飛散抑制剤等による湿润化の後、手ばらしで行う。 ・掻き落とし・破壊・切断等による除去を行う。 ※9.1.3 [石綿含有吹付け材の除去]により、作業場を隔離する。	[9.1.4]	
	4	鉄筋の種類	種類の記号 呼び名(mm)	[8.2.1][表8.2.1]		17	打増し壁に用いるサツツサ	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのサツツサの種類 ※「6 あと施工アンカーの材料」による 間隔(mm) ※500×500 ・図示	[8.3.7]		30	増設・補強工事のコンクリートの打込み	工法の種類 ※流し込み工法 ・圧入工法	[8.21.8][8.23.5]	4	石綿含有成形板等の除去	養生等 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位（出入口、換気口、窓等）は閉とし、ガラスの破損箇所等で閉となっている部位を養生シート等で塞ぐ。 作業場所周辺の養生（養生シート等） ・行う ・行わない 石綿含有成形板の種類	[9.1.5]	
	5	溶接金網	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法(たて×よこ) 鉄線の径または呼び(mm)	[8.2.2]		18	圧接完了後の試験	圧接部の確認試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験	[8.3.8]		31	柱補強	溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ※ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む ・図示	[8.23.5]	5	石綿含有仕上塗材の除去	除去工法 ※改修仕様9.1.6による。	[9.1.6]	
	6	あと施工アンカー	あと施工アンカーの材料 ・金属拡張アンカー ※接着系アンカーの種類 ※有機系	[8.2.4]		19	あと施工アンカーの施工	穿孔前の埋込み配管等の埋設方法 ※電磁波レーダー法 ・電磁誘導法 ・X線法	[8.12.4]		32	耐震スリットの施工	幅 ※30mm～50mm程度 ・長さ ※300mm以上 形状 ※完全スリット(※既存鉄筋切断 ・既存鉄筋を 本残す) ・部分スリット(既存コンクリートを厚さ50mm程度残す) 撤去部の補修 ・撤去材と同一材 ※無収縮モルタル (圧縮強度30N/mm <sup>2</sup> 以上)	[8.25.2]	6	除去した石綿等の処分等	除去した石綿等の処分 ※各種廃棄物分類に応じた最終処分場で埋立処分 ・中間処理 ・アスベストの中間処理に適する溶融施設において溶融処理 ・大臣認定を受けた無害化処理施設において無害化処理	[9.1.3～9.1.6]	
	7	セメントの種類	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、立降セメントA種又は 757ポルトランドセメントA種 ・普通エコセメント ・高炉セメントB種 (適用箇所: ) ・757ポルトランドセメントB種 (適用箇所: )	[8.2.5][表8.2.3]		20	あと施工アンカーの施工確認試験	※全数の打音検査 ※引抜き耐力試験 範囲 ※改修仕様8.12.7による ・補修壁1枚あたり3本(梁下・柱・床(または梁上)各1本)以上 確認強度 ※あと施工アンカーの確認強度は構造標準図による	[8.12.7]		9	1	石綿含有建材の処理	石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貨与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査するとともに記録の写しを現場に備え置く。また、発注者への説明、く係法令等に基づき官公署へ報告を行う。 調査範囲 ・ 図示 貨与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない 分析方法	[9.2.2]	7	外断熱改修	断熱材の種類 (厚さ: mm) [9.2.2] 既存外装材の撤去 ・行う ・行わない [9.2.3] 下地の清掃 ・行う ・行わない [9.2.3] 断熱材を設置する部分の下地に欠損部がある場合 [9.2.3] ※4.1.4 [外壁改修工法の種類]による 建築基準法に基づき指定する条件により、定める風圧力に対応した工法を [9.2.4] 改修仕様1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。 不陸等の下地調整 ・ 断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層 ・設ける (厚さ: mm) ・設けない 外装材の外壁への取付け ・図示 ・	[9.2.2]
	8	骨材の品質	757ポルトランドセメントによる区分 ・A ※B (コンクリート中の757ポルトランドセメント含有率=3.0kg/m <sup>3</sup> )	[8.2.5]		21	鉄骨の工作図	高力ボルト及び普通ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※建築工事監理指針による ・図示	[8.13.2]		10	1	石綿含有建材の処理	石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貨与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査するとともに記録の写しを現場に備え置く。また、発注者への説明、く係法令等に基づき官公署へ報告を行う。 調査範囲 ・ 図示 貨与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない 分析方法	[9.2.2]	8	ガラス改修	本特記仕様 5 建具改修工事 17 ガラスによる	
	9	混和材料の種類	※混和剤 ・混和材(※JIS A 6202による乾燥材)	[8.2.5]		22	鉄骨工作仮組	※行う	[8.13.10]		11	1	石綿含有建材の処理	石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貨与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査するとともに記録の写しを現場に備え置く。また、発注者への説明、く係法令等に基づき官公署へ報告を行う。 調査範囲 ・ 図示 貨与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない 分析方法	[9.2.2]	9	断熱・防露改修	断熱材打込み工法の材料 [9.3.2] ・ビーズ法ポリレンフォーム断熱材 ・硬質ポリレンフォーム断熱材 ・押出法ポリレンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材 ・ポリレンフォーム断熱材	
	10	型枠	スラブの材料、規格等 ・図示	[8.2.7]		23	開先形状	※鉄骨工事技術指針による ・図示	[8.15.4]		12	1	石綿含有建材の処理	石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貨与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査するとともに記録の写しを現場に備え置く。また、発注者への説明、く係法令等に基づき官公署へ報告を行う。 調査範囲 ・ 図示 貨与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない 分析方法	[9.2.2]	10	屋上緑化改修	断熱材現場発泡工法の材料 [9.3.3] A種1又はA種1Hとし、難燃性を有するものとする。(吹付け厚さ mm) 工法 [9.4.3] ※「屋根ふき材及び屋外に面する壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を改修仕様1.2.2[施工計画書]で定める。 かん水装置 ・設置する (図示による) ・設置しない [9.4.3] 既存保層層等の撤去 ・行う ・行わない [9.4.3] 枯植根及び枯植処理 [9.4.4] 期間 ※引渡しの日から1年間 ・年間 ・年 月 日迄	
	11	鋼材	鋼材の材質 種類の記号 適用箇所 規格等	[8.2.8][表8.2.7]		24	スカラップ	※図示による ・監督員の指示による	[8.15.7]		13	1	石綿含有建材の処理	石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貨与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査するとともに記録の写しを現場に備え置く。また、発注者への説明、く係法令等に基づき官公署へ報告を行う。 調査範囲 ・ 図示 貨与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない 分析方法	[9.2.2]	11	透水性757ポルトランドセメント	既存舗装の撤去 [9.5.2] 舗装撤去箇所 再利用する層	
	12	高力ボルト	高力ボルトの適用 ※H形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト	[8.2.9]		25	溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う	[8.15.12]		14	1	石綿含有建材の処理	石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貨与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査するとともに記録の写しを現場に備え置く。また、発注者への説明、く係法令等に基づき官公署へ報告を行う。 調査範囲 ・ 図示 貨与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない 分析方法	[9.2.2]				
	13	モルタル及びグラウト材	柱底均しモルタル ※無収縮モルタル グラウト材 ※無収縮グラウト材 ※プレミックス形 ・現場調合形 無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8.2.10] ※圧縮強度試験は、公的機関で行う。	[8.2.12]		26	錆止め塗料	※工場1回塗り、工事現場1回塗り ・工場2回塗り 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(塗装範囲: ※図示 ・ 塗料種別: ) ※行うかない 上記以外 ※改修仕様8.17.2(1)による ・図示 塗料種別 ※A種 ・B種	[8.17.2]～[8.17.4]		15	1	石綿含有建材の処理	石綿含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貨与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査するとともに記録の写しを現場に備え置く。また、発注者への説明、く係法令等に基づき官公署へ報告を行う。 調査範囲 ・ 図示 貨与資料 ・ 分析による石綿含有建材の調査 ・行う ・行わない 分析方法	[9.2.2]				



- ① 公共事業労務費調査への協力 ※協力する
- ② 工事監理方式 共同監理 ○ 有り ・ 無し
- ③ 適用基準等 ・ 営繕工事電子納品要領（国土交通大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室）  
※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）
- 4 総合図 ※作成する
- 5 工事成績評定 ※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

⑥ 工事区分表  
注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目	建電空衛昇	備考
<b>躯体関係</b>		
1. RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリ-フ材及び取付け	○ ○ ○ ○
	補強を要する型枠材及び取付け	○ ○ ○ ○
	補強を要しない型枠材及び取付け	○ ○ ○ ○
	貫通孔・開口部の墨出し	○ ○ ○ ○
	貫通孔・開口部の補強	○ ○ ○ ○
	スリ-フ・型枠の穴埋め	○ ○ ○ ○
2. S・SRC造はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリ-フ・補強	○ ○ ○ ○
	使用されたスリ-フの穴埋め	○ ○ ○ ○
	予備スリ-フの穴埋め	○ ○ ○ ○
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○ ○ ○ ○
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)	○ ○ ○ ○
	屋外・屋上の基礎	○ ○ ○ ○
	屋上基礎で押さえコンクリートに於ける軽鉄などの	○ ○ ○ ○
	機器取付け用アンカー・架台	○ ○ ○ ○
	屋内受水タンク用の基礎	○ ○ ○ ○
<b>仕上げ関係</b>		
鉄筋天井・壁下地	補強を用いるスリ-フの切り込み及び下地の補強	○ ○ ○ ○
	補強を要しないスリ-フの切り込み	○ ○ ○ ○
	開口部の墨出し	○ ○ ○ ○
<b>電気関係</b>		
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)	○ ○ ○ ○
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○ ○ ○ ○
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線	○ ○ ○ ○
その他(工事区分を特に間違えやすい項目)		
天井材	取外し再取付(各種配管配線作業用)	○ △ △ △ △
床はつり補修	各種配管配線作業用	○ ○ ○ ○
読書台、ガス台		○ ○ ○ ○
便所手洗いかん-		○ ○ ○ ○
洗面化粧台		○ ○ ○ ○
ガス漏れ警報器		○ ○ ○ ○
24H換気扇	機器納入	○ ○ ○ ○
運動スイッチ	取付	○ ○ ○ ○
湯沸器	機器納入	○ ○ ○ ○
運動スイッチ	取付	○ ○ ○ ○

⑦ 発生材の処理等 [1.3.12]  
① 再生資材の利用  
下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考
コンクリートガラ				

2 建設発生土の利用  
盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3 建設発生土の搬出  
工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

受入工事名/施設名称	工事場所/施設所在地	連絡先	仮置場所の有無	備考

④ 建設廃棄物の搬出  
工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	処理施設名称	施設所在地	連絡先	備考

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

- ⑤ 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
- ⑥ 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外、委託契約書の写しを提出すること。
- ⑦ 協議について  
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

⑧ 化学物質の濃度測定 [1.7.9]  
1) 測定時期  
測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。  
測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時とする。  
※ 測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、6)の措置を講じる時間を見込むこと。

2) 測定対象物質  
※ホルムアルデヒド (指針値0.08ppm以下)  
※トルエン (指針値0.07ppm以下)  
※キシレン (指針値0.05ppm以下)  
※エチルベンゼン (指針値0.88ppm以下)  
※ステレン (指針値0.05ppm以下)  
※パラジクロロベンゼン (指針値0.04ppm以下)

3) 測定室  
・普通教室棟トイレ 2室 (測定箇所 2箇所)  
・特別教室棟トイレ 2室 (測定箇所 2箇所)  
・給食室 (測定箇所 1箇所)

4) 測定方法  
測定機器  
※パッシブ型採取機器 ○監督員の承諾する機器  
測定要領(パッシブ型測定法の場合)  
※ 測定前の措置  
測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉(造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。)を開放し、30分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。  
※ 測定は次のイーハによる。  
イ 上記測定前の措置の状態のまま測定する。  
ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時~3時が測定時間帯の中央となるよう10時30分から18時30分までの時間帯で測定する。  
ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。  
※ その他  
上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

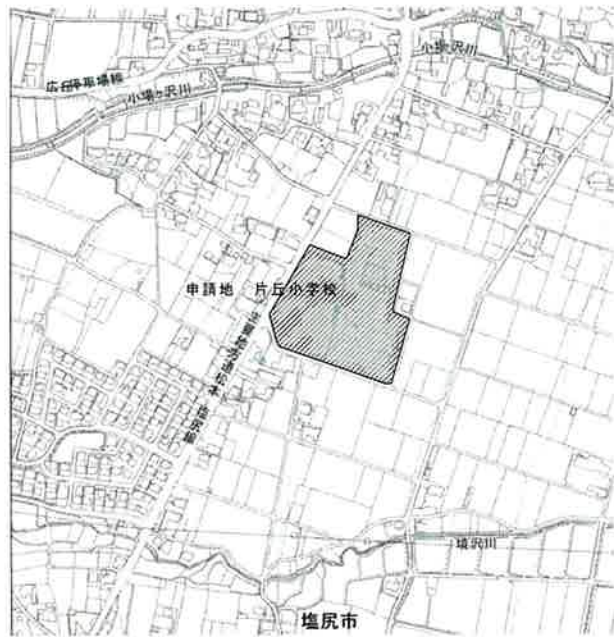
5) 測定結果の分析  
測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

6) 測定結果が指針値を超えた場合の措置  
※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度4)、5)により、測定を行う。

7) 報告書の提出  
※測定結果の報告書を完了検査日までに監督員に提出する。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了までに測定結果速報を監督員に提出する。

9 中間技術検査  
低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。





案内図 S=1:5000

■ 設計概要書

◆ 工事名称・その他

・工事名称	片丘小学校トイレ改修工事
・工事場所	塩尻市大字片丘5369番地 他
・工事種別	トイレ改修工事
・用途地域	なし
・防火地域	指定なし
・その他の地域地区	・
・敷地面積	25,230㎡
・法定建蔽率/容積率	60 / 200
・主要用途	小学校
・建築主	塩尻市長
・予定工期	令和6年6月 日 ~ 令和6年9月30日
・その他	・

◆ 構造・規模

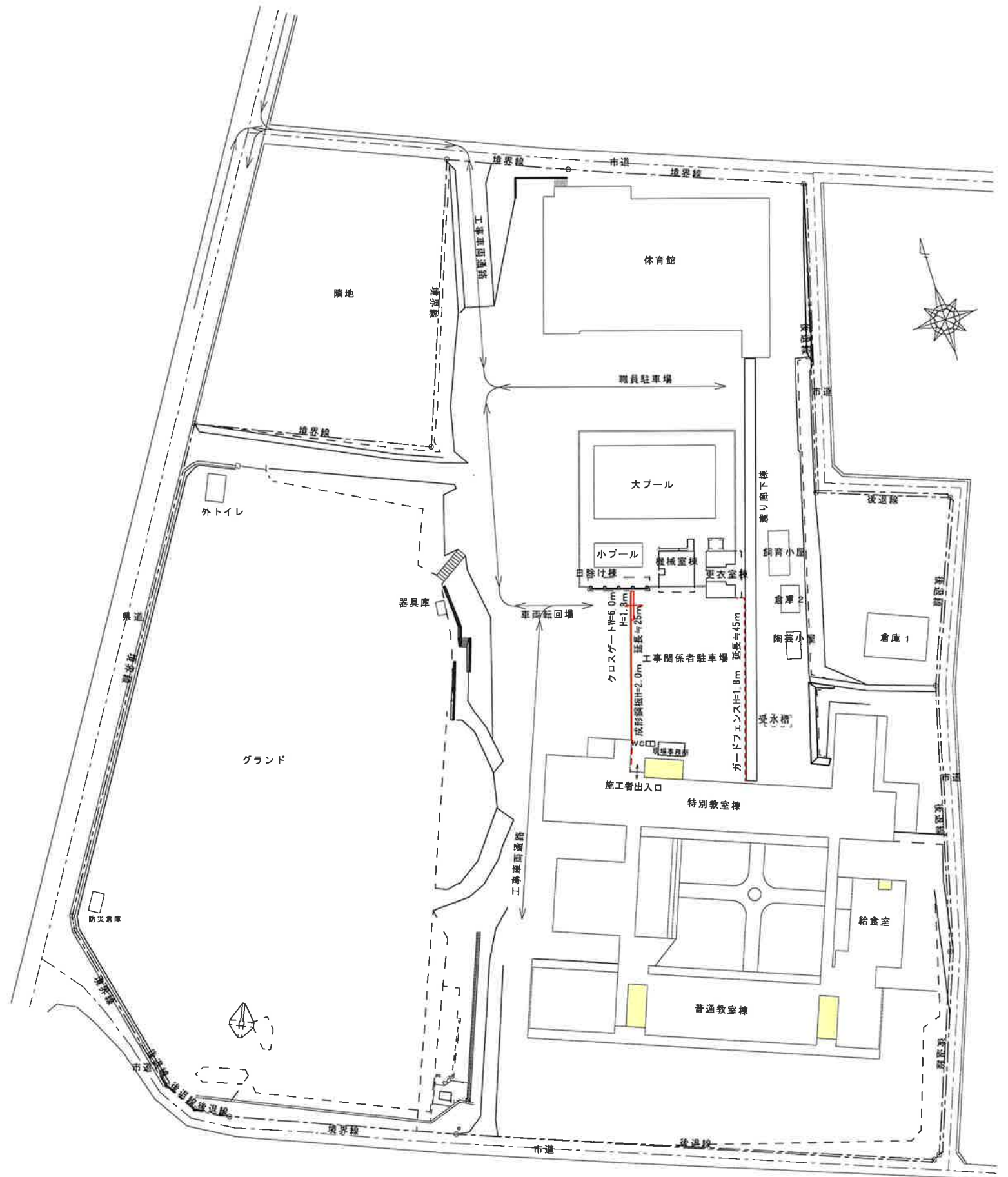
・主体構造	校舎棟一鉄筋コンクリート造
・地業	構造特記による
・階数	2
・最高の高さ	
・最高の軒の高さ	
・増築予定	なし

◆ 面積表

		単位:㎡	
		合計	
敷地面積		25,230.00	
建築面積		4,885.92	
延べ面積		6,156.08	
建蔽率/容積率	19.37% /	24.40%	

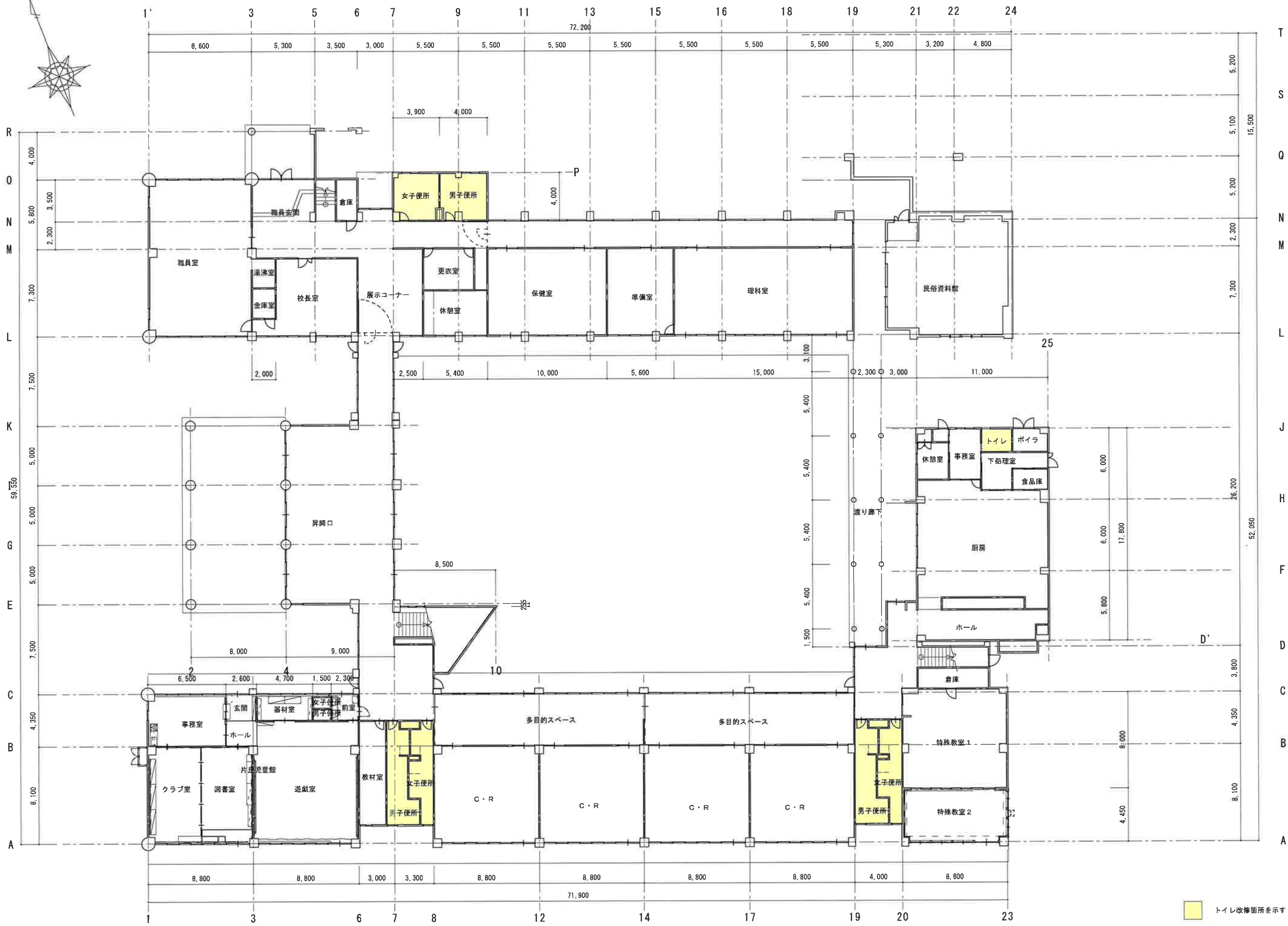
◆ 棟別面積表

				単位:㎡	
階数	構造	建築面積	延べ床面積		
校舎棟	既存 2	RC造	2,945.21	4,193.58	
屋内運動場棟	既存 2	RC+S造	1,372.83	1,651.88	
更衣室棟	既存 1	RC造	59.52	37.32	
機械室棟	既存 1	RC造	53.28	50.40	
日除け棟	既存 1	RC造	27.79	0.00	
遊り廊下棟	既存 1	S造	197.91	0.00	
倉庫1	既存 1	LS造	119.88	113.40	
倉庫2	既存 1	LS造	38.22	38.22	
飼育小屋	既存 1	LS造	19.44	19.44	
陶芸小屋	既存 1	LS造	16.20	16.20	
防災倉庫	既存 1	LS造	9.60	9.60	
器具庫	既存 1	LS造	5.04	5.04	
外便所	既存 1	LS造	21.00	21.00	
合計			4,885.92	6,156.08	



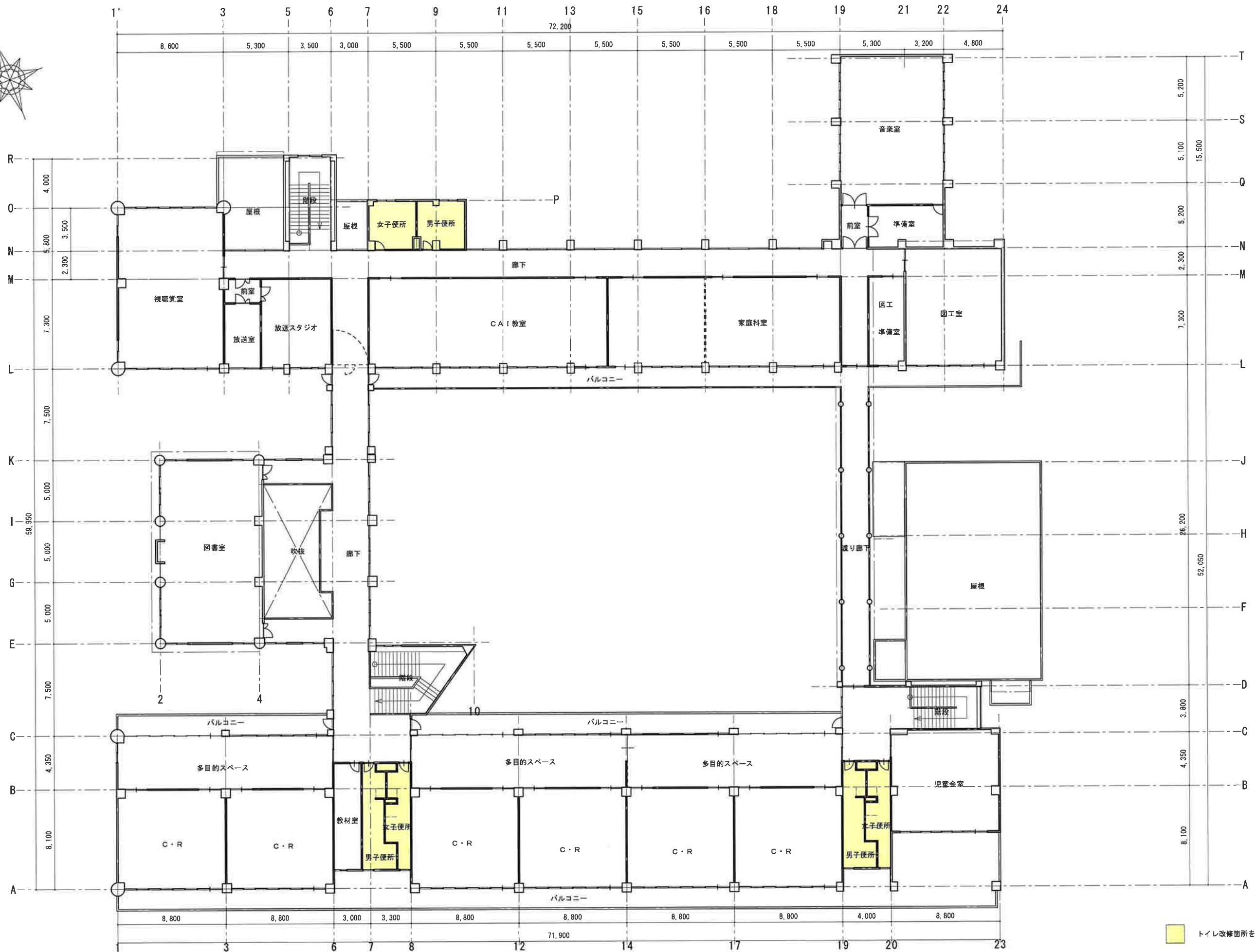
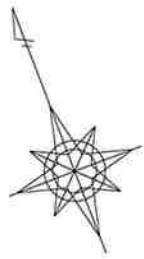
配置図 S=1:500

トイレ改修箇所を示す

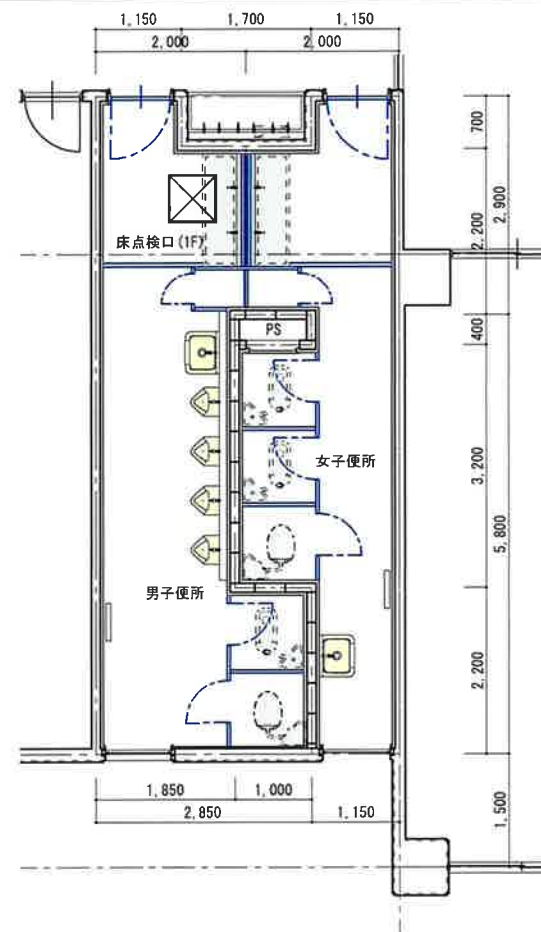


トイレ改修箇所を示す



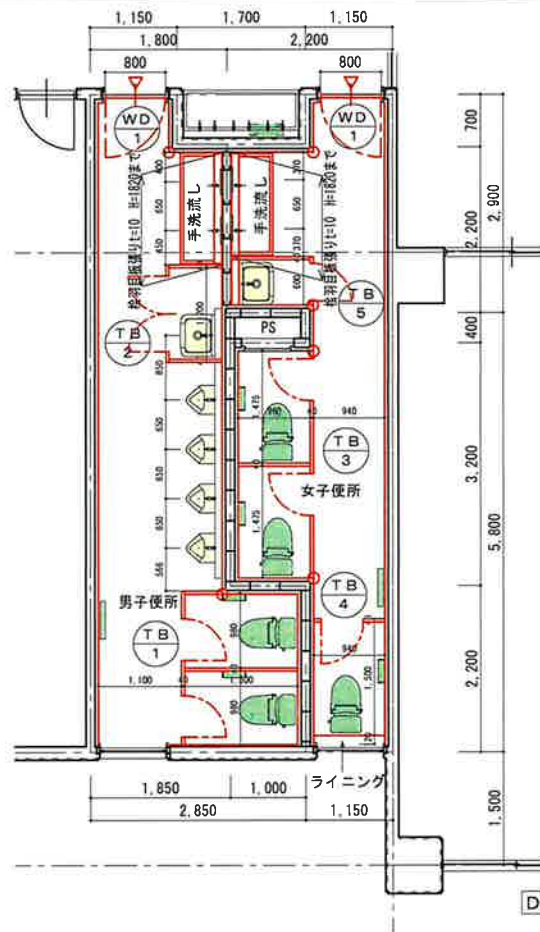


トイレ改修箇所を示す



- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 撤去建具を示す

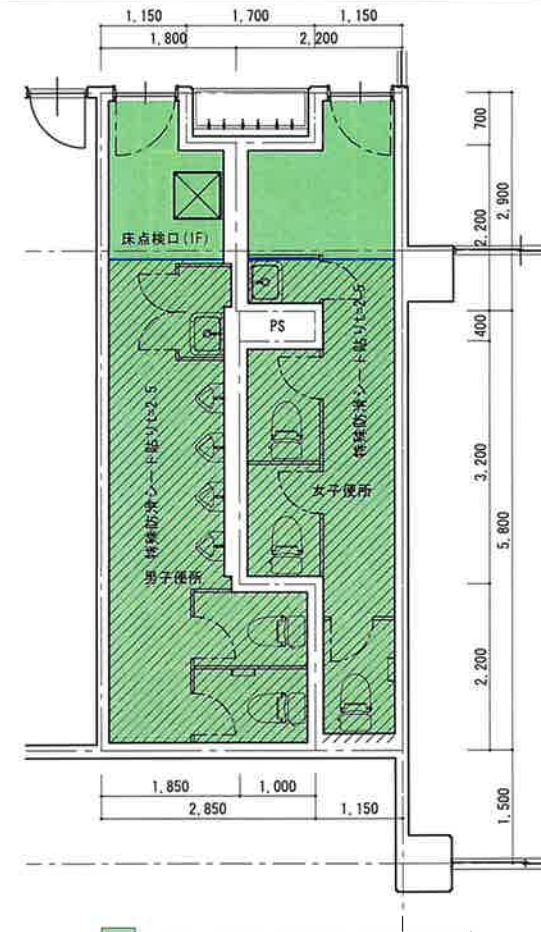
現況平面図 S=1:50



- 新設衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 新設・更新建具を示す

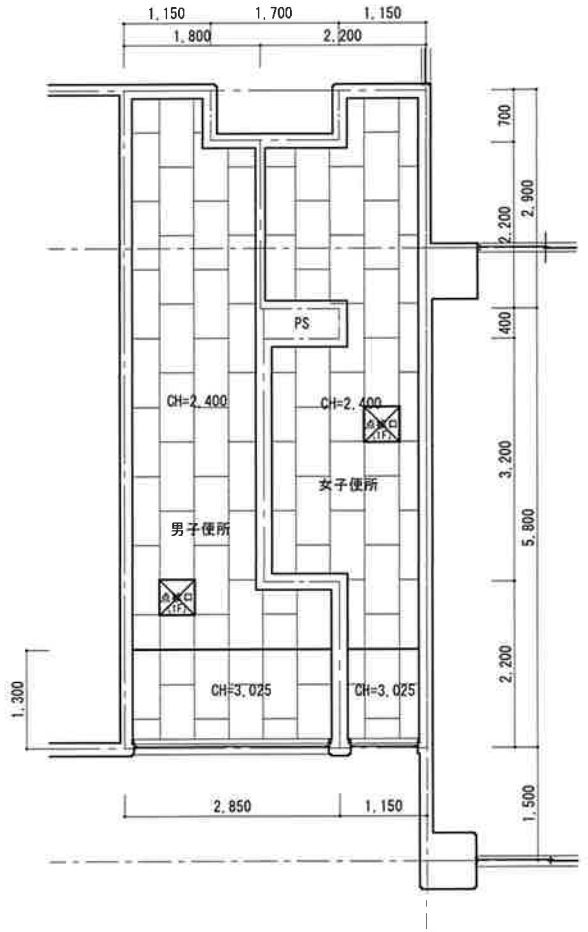
改修平面図 S=1:50

凡例  
 出隅 ○ アルミジョイナーを示す  
 室名札 ▼ ピクトグラム 建具面 150角程度 計8箇所  
 SUSヘアラインt=1.0



- 床シート貼替及び新規床シート貼り箇所を示す。
- 既存床シート撤去、モルタル金ゴテt=50

改修床伏図 S=1:50



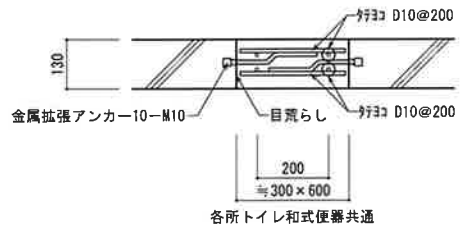
1階のみ天井撤去、復旧 LGS(19)下地、化粧石膏ボードt=9.5張り  
 天井点検口の遺残は1階のみの4か所とする。  
 2階の天井は、既存化粧石膏ボードt=9に粉体塗料仕上(シーリングマジック同等品)

改修天井伏図 S=1:50

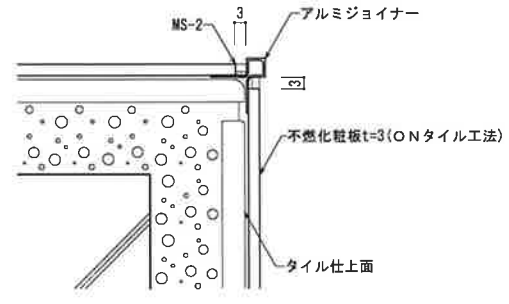
普通教室棟1階・2階 東・西 トイレ共通

普通教室棟トイレ 仕上表	
床	現況 長尺塩ビ床シートt=2.5貼り 床下点検口(1F男子)
	撤去等 床シート剥がし、清掃、和式便器改修部:床スラブ補強
巾木	現況 床シート貼上げH=100
	撤去等 シート撤去
壁	改修後 モルタル下地、特殊防汚長尺シート貼りt=2.5
	現況 100角タイル張り
1階天井	撤去等 カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
	改修後 化粧不燃板t=3(ONタイル工法)
2階天井	現況 LGS(19)、化粧石膏ボードt=9張り
	撤去等 LGS下地撤去、天井ボード撤去(1F)
ライニング天板	改修後 LGS(19)天井下地、化粧石膏ボードt=9.5張り、点検口(450)2x2
	現況 テラズブロック
ライニング壁	撤去等 カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
	改修後 再使用、追設部: SUS板t=0.8(HL)曲げ加工品
出入口建具	現況 100角タイル張り、CB下地
	撤去等 カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
トイレベース	改修後 化粧不燃板t=3(ONタイル工法、接着工法)、LGS90+耐水合板t=12下地
	現況 額ガリ付木製フラッシュ戸(片開き)
窓枠・建具枠	撤去等 既存トイレベース全撤去
	改修後 メラミン化粧板フラッシュ、ラバトリーヒンジ、表示錠、Rエッジ、頭つなぎ、巾木
衛生器具	現況 ラワンSOP塗り
	撤去等 ケレン清掃
改修	改修後 SOP塗替え
	現況 手洗流し2、水飲み流し1、小便器4、和式大便器3、洋式大便器2、掃除流し2
改修	撤去等 既存衛生器具全取外し、一部再利用
	改修 手洗流し2、化粧鏡4、小便器4、洋式大便器5、掃除流し2、水飲み流し

共通事項: 化粧不燃板t=3(ONタイル工法) <参考: アイカ「セラール」同等品>

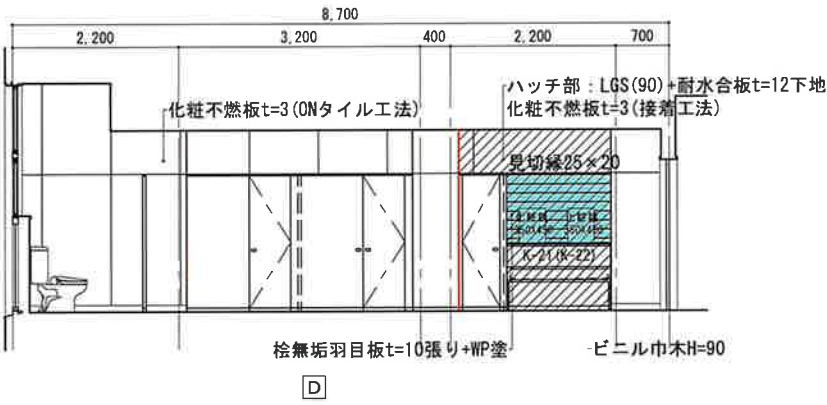
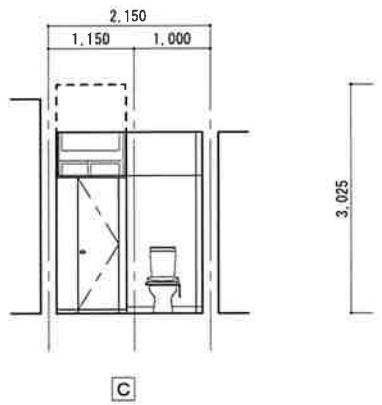
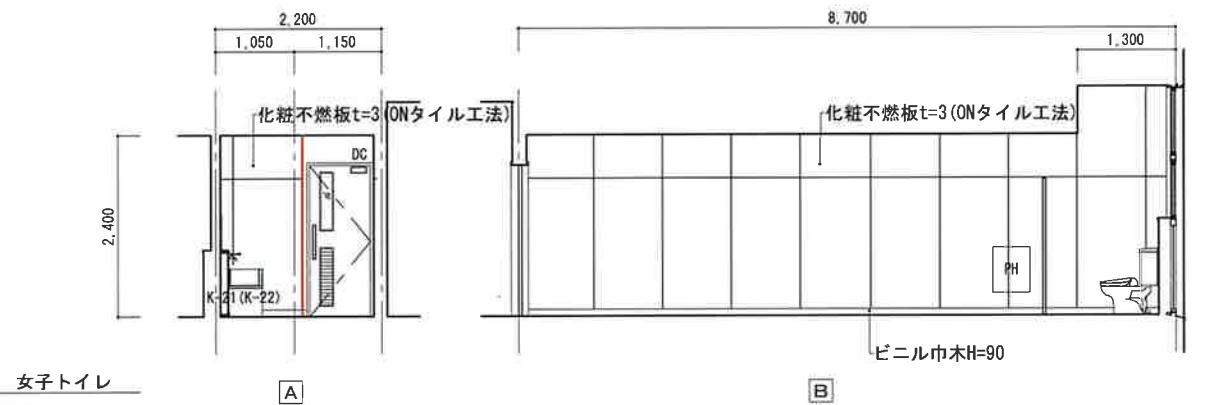
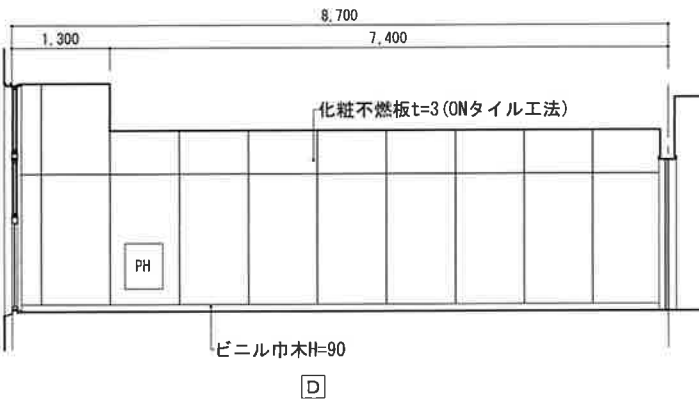
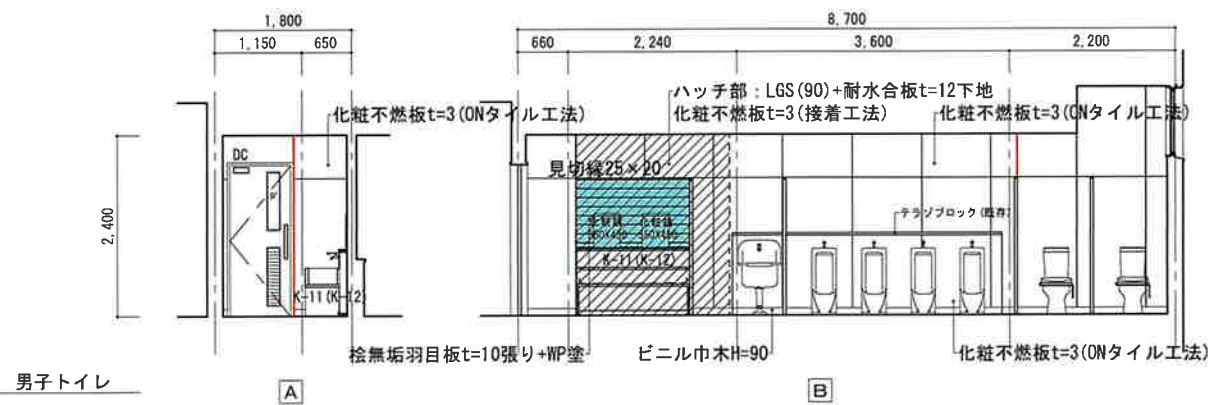


スラブ補修図 S=1:10



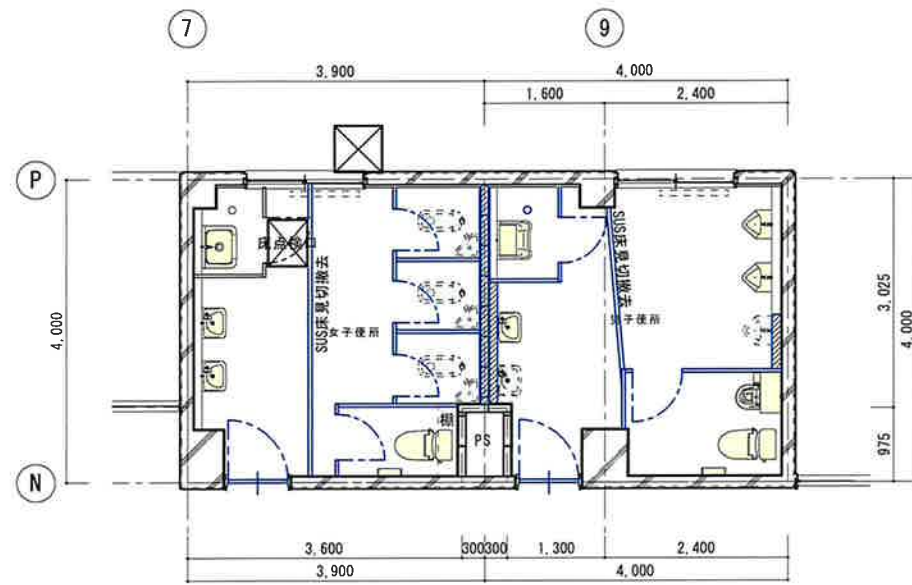
出隅部 S=1:1





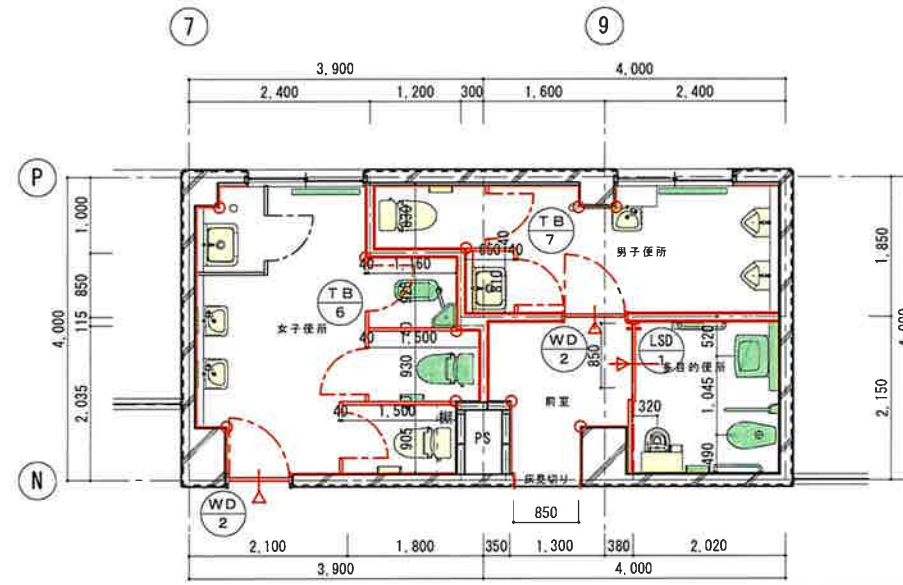
建具符号	使用場所	WD-1	普通教室トイレ	TB-1	男子トイレ	TB-2	男子トイレ(掃除用具入)
改修内容	更新	更新	更新	新設	新設	新設	新設
形状寸法							※現場採寸の上製作する事
種類	数量	額ガリ付き片開きフラッシュ戸	8	トイレブース	4	トイレブース	4
見込	仕上	40	大手・ガラリ SOP塗り	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材
材質	硝子	ポリエステル化粧合板	4mm強化ガラス ビクトグラム(150角)	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア		メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	
金物	丁番、押板、ドアハンドル、ドアチェック(S付)、戸当り			ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内開用>・握玉付錠・帽子掛型戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式		丁番・取手・キャッチ・戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式	
建具符号	使用場所	TB-3	女子トイレ	TB-4	女子トイレ	TB-5	女子トイレ(掃除用具入)
改修内容	更新	更新	更新	新設	新設	新設	新設
形状寸法							※現場採寸の上製作する事
種類	数量	トイレブース	4	トイレブース	4	トイレブース	4
見込	仕上	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材
材質	硝子	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア		メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア		メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材: ペーパーコア	
金物	ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内開用>・握玉付錠・帽子掛型戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式			ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内開用>・握玉付錠・帽子掛型戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式		丁番・取手・キャッチ・戸当り ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式	

建具符号	使用場所	K-11(男子) K-12(男子)	普通教室棟 1階男子トイレ、2階男子トイレ
改修内容	更新	更新	更新
形状寸法			※寸法は現地採寸のこと
種類	数量	手洗流し台	2 (K-11) + 2 (K-12)
見込	仕上	30、25	見掛け: ポリ合板
材質	硝子	見掛けポリ合板+耐水ラワン合板フラッシュ	木部: SOP塗り
金物	戸車、引手 ステンレス製シンク SUS304HL t=1.0、浅型排水トラップ、ゴミ受け皿		
建具符号	使用場所	K-21(女子) K-22(女子)	普通教室棟 1階女子トイレ、2階女子トイレ
改修内容	更新	更新	更新
形状寸法			※寸法は現地採寸のこと
種類	数量	手洗流し台	2 (K-21) + 2 (K-22)
見込	仕上	30、25	見掛け: ポリ合板
材質	硝子	見掛けポリ合板+耐水ラワン合板フラッシュ	木部: SOP塗り
金物	戸車、引手 ステンレス製シンク SUS304HL t=1.0、浅型排水トラップ、ゴミ受け皿		



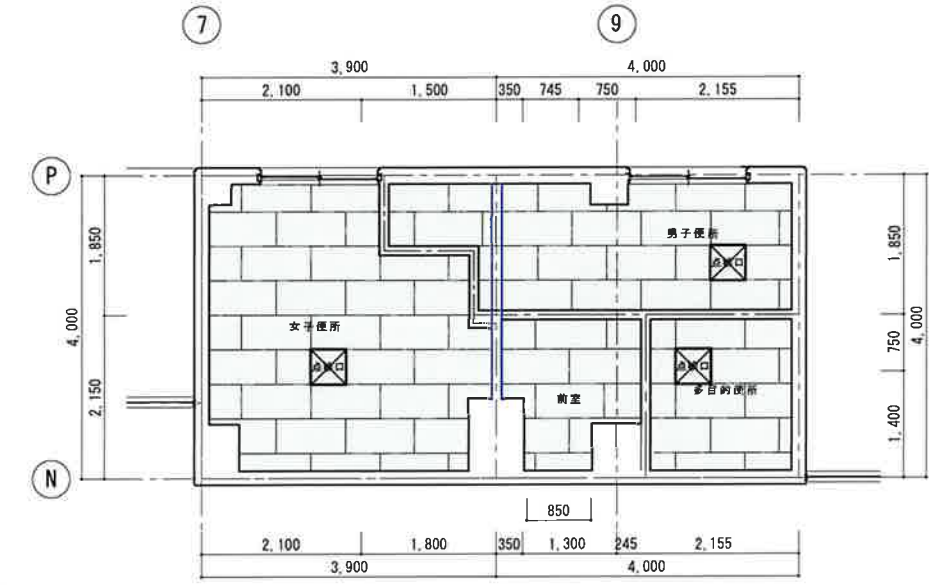
- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 撤去建具を示す

現況平面図 S=1:50



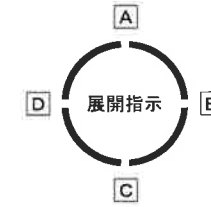
- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 新設・更新建具を示す

改修平面図 S=1:50



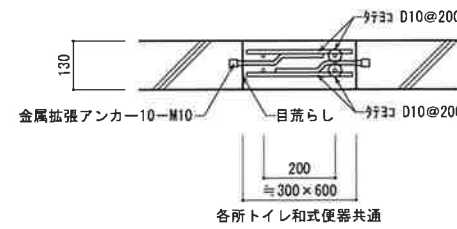
- 撤去天井(下地共)を示す。
- LGS天井下地、化粧石膏ボード張りt=9.5、塩ビ廻り縁

改修天井伏図 S=1:50



特別教室棟1階トイレ 仕上表		
床	現況	長尺塩ビ床シートt=2.5貼り 床下点検口(女子)
	撤去等	床シート剥がし、清掃、嵩上:モルタル金ゴテt=50
巾木	現況	床シート貼上げH=100
	撤去等	シート撤去
壁	現況	100角タイル張り
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
間仕切壁	現況	
	撤去等	LGS(90)、耐水合板t=12
天井	現況	LGS(19)、化粧石膏ボードt=9張り
	撤去等	仕上、下地撤去 吊りボルト再利用
ライニング天板	現況	テラゾブロック
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃
ライニング腰壁	現況	100角タイル張り、CB下地
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
出入り口建具	現況	額ガバリ付木製フラッシュ戸(片開き)
	撤去等	既存扉撤去取替え、枠再利用
トイレベース	現況	額ガバリ付木製フラッシュ戸、丁番、引手、押板、ドアチェック、ピクトグラム
	撤去等	木製フラッシュベース
窓枠・建具枠	現況	既存トイレベース全撤去
	撤去等	メラミン化粧板フラッシュ、ラバトリーヒンジ、表示錠、Rエッジ、頭つなぎ、巾木
衛生器具	現況	ラワンSOP塗り
	撤去等	ケレン清掃
衛生器具	現況	SOP塗替え
	撤去等	手洗流し4、小便器3、和式大便器3、洋式大便器2、オストメイト1、掃除流し2
改修		既存衛生器具全取外し、一部再利用
改修		手洗流し3、小便器2、和式大便器1、洋式大便器4、オストメイト1、障害者手洗1、掃除流し2

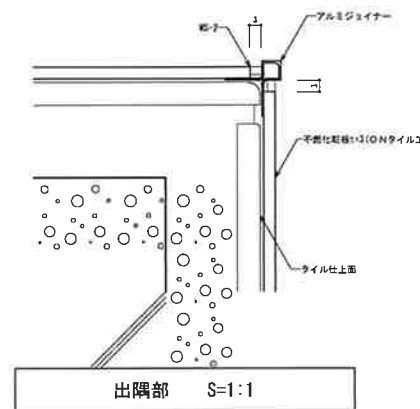
共通事項:化粧不燃板t=3(ONタイル工法) <参考:アイカ「セラル」同等品>



各所トイレ和式便器共通

既設大便器撤去後の床開口は、不要箇所すべて鉄筋コンクリートにて穴埋める。

スラブ補修図 S=1:10



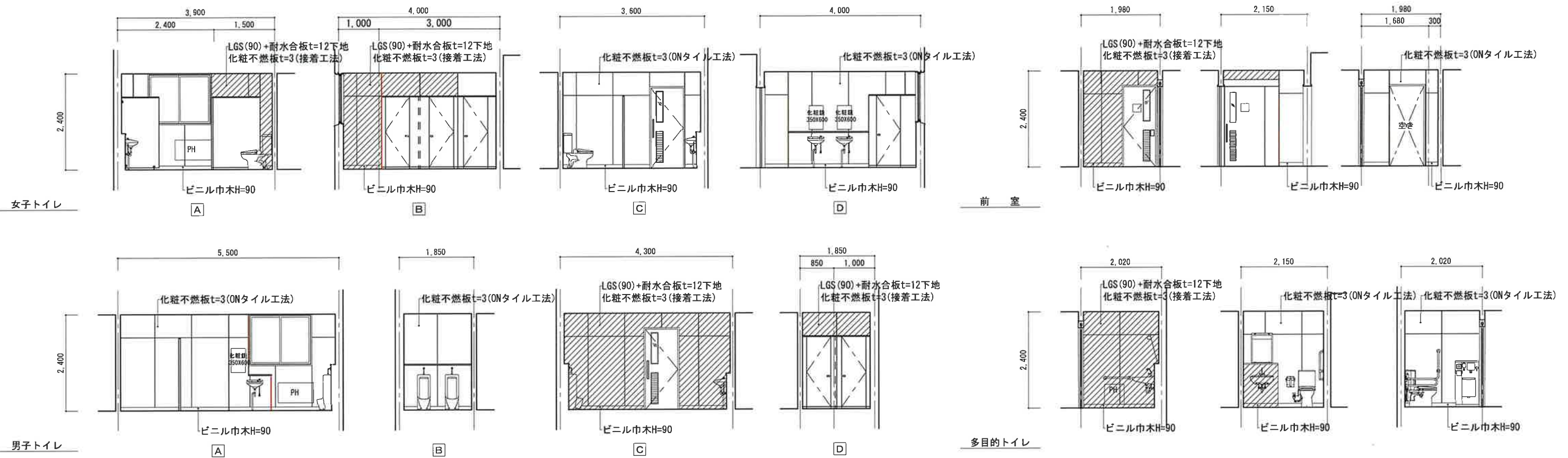
出隅部 S=1:1

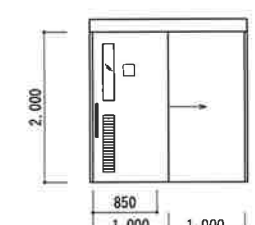
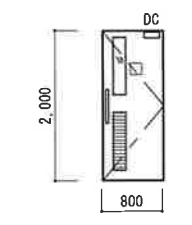
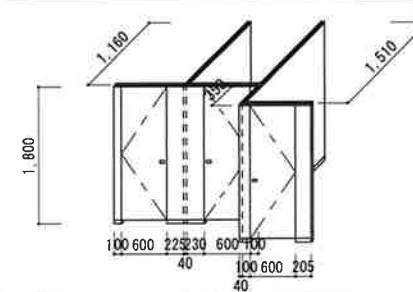
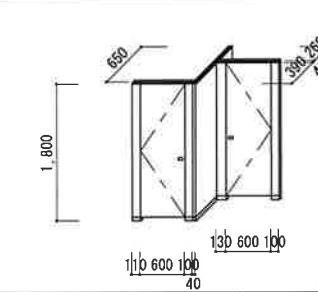


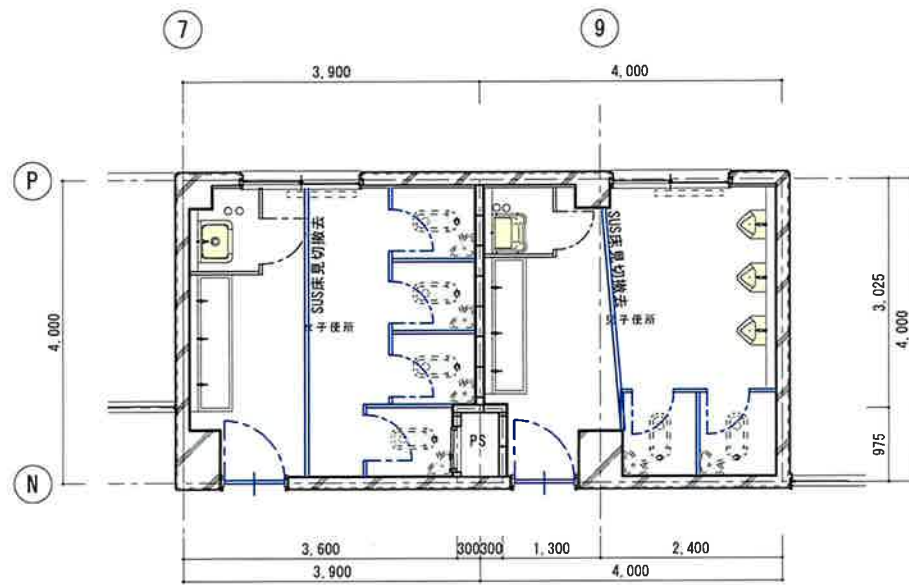
- 床シート貼替及び新規床シート貼り箇所を示す。
- 既存床シート撤去、モルタル金ゴテ下地t=50

改修床伏図 S=1:50



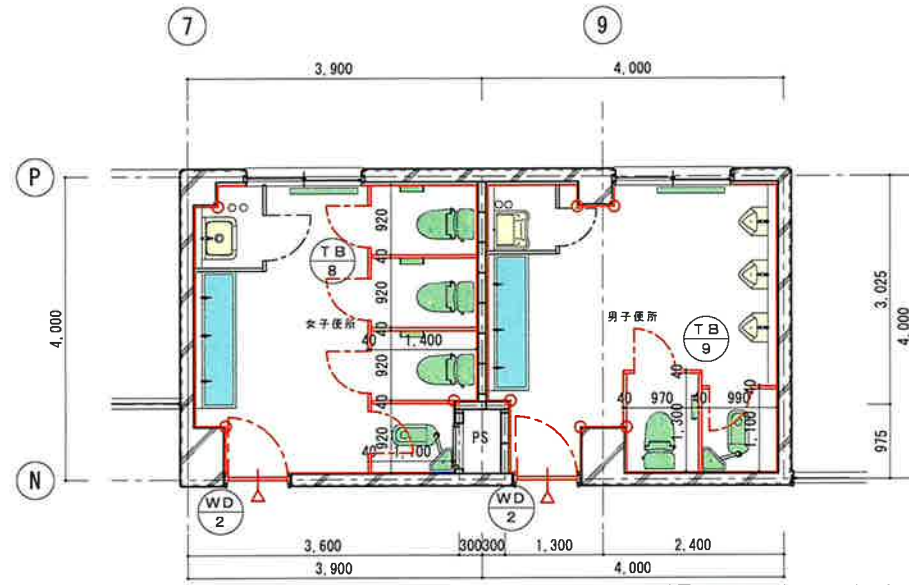


建具符号	使用場所	LSD-1	特別教室1階多目的トイレ	WD-2	特別教室1階2階トイレ
改修内容		新設		更新	
形状寸法					
種類	数量	片引き吊戸 (軽量スチール戸)	1	額ガバリ付き片開きフラッシュ戸	4 1F・2F共通
見込	仕上	40	粉体焼付塗装	40	大手・ガラリ SOP塗り
材質	硝子	着色軽量鋼板	4mm強化ガラス ビクトグラム	ポリエステル化粧合板	4mm強化ガラス ビクトグラム
金物		SA, PP, CL(表示付ケースロック), 指節防止ゴムクッション 半自動片引き吊戸システム一式, 附属金物一式		丁番, 押板, ドアハンドル, ドアチェック(S付), 戸当り	
建具符号	使用場所	TB-6	特別教室1階女子トイレ	TB-7	特別教室1階男子トイレ
改修内容		新設		新設	
形状寸法					
種類	数量	トイレブース	1	トイレブース	1
見込	仕上	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー: アルミ押出型材
材質	硝子	メラミン化粧板+MDFフラッシュ, 芯材: ペーパーコア		メラミン化粧板+MDFフラッシュ, 芯材: ペーパーコア	
金物		ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内外開用>・握玉付空錠・帽子掛型戸当 ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式		ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<外開用>・握玉付空錠・帽子掛型戸当 ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式	



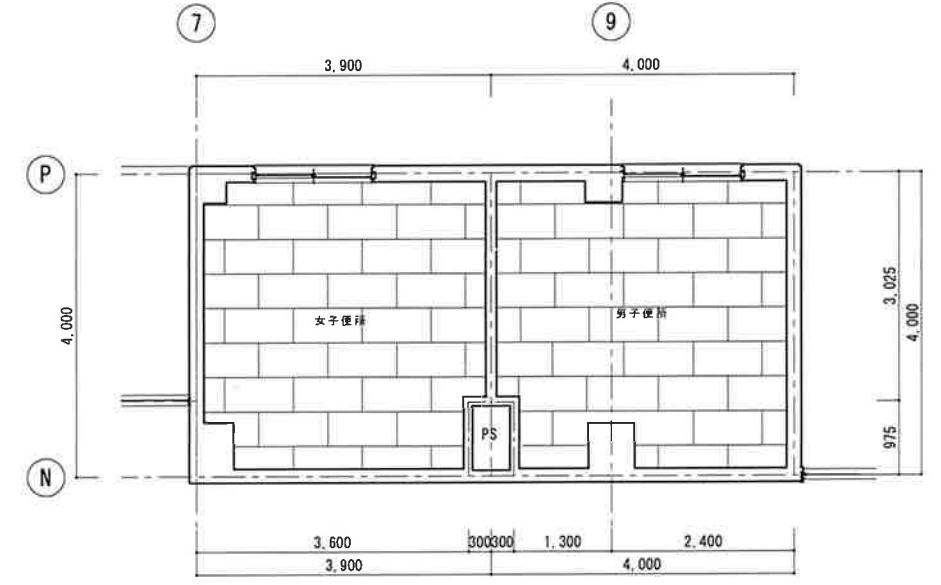
- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 撤去建具を示す

現況平面図 S=1:50



- 新設衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 撤去建具を示す
- 出隅  アルミジョイナーを示す
- 室名札  ピクトグラム 建具面 150角程度 計2箇所
- 既設衛生機器を示す(再利用) SUSヘアラインt=1.0

改修平面図 S=1:50

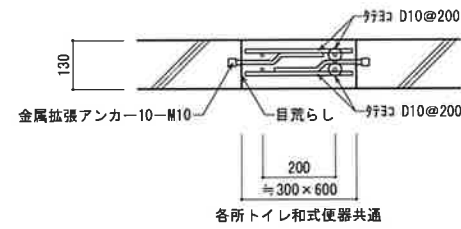


2階の天井は、既存化粧石膏ボードt=9に粉体塗装仕上(シーリングマジック同等品)

改修天井伏図 S=1:50

特別教室棟2階トイレ 仕上表		
床	現況	長尺塩ビ床シートt=2.5貼り
	撤去等	床シート剥がし、清掃、嵩上：モルタル金ゴテt=50
	改修後	特殊防滑長尺シート貼りt=2.5
巾木	現況	床シート貼上げH=100
	撤去等	シート撤去
	改修後	ビニル巾木H=90貼り
壁	現況	100角タイル張り
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
	改修後	化粧不燃板t=3(ONタイル工法)
天井	現況	LGS(19)、化粧石膏ボードt=9張り
	撤去等	清掃
	改修後	ボードは現状のまま、新規粉体塗装(シーリングマジック同等品)
ライニング天板	現況	テラゾブロック
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃
	改修後	再使用、追設部：SUS板t=0.8(HL)曲げ加工品
ライニング壁	現況	100角タイル張り、CB下地
	撤去等	カビ部除去、水洗い清掃、プライマー塗布
	改修後	化粧不燃板t=3(ONタイル工法)
出入り口建具	現況	額ガバリ付木製フラッシュ戸(片開き)
	撤去等	既存扉撤去取替え、枠再利用
	改修後	額ガバリ付木製フラッシュ戸、丁番、引手、押板、ドアチェック、ピクトグラム
トイレブース	現況	木製フラッシュブース
	撤去等	既存トイレブース全撤去
	改修後	メラミン化粧板フラッシュ、ラバトリーヒンジ、表示錠、Rエッジ、頭つなぎ、巾木
窓枠・建具枠	現況	ラワンSOP塗り
	撤去等	ケレン清掃
	改修後	SOP塗替え
衛生器具	現況	手洗流し2、小便器3、和式大便器6、掃除流し2
	撤去等	既存衛生器具全取外し、一部再利用
	改修	手洗流し2、小便器3、和式大便器2、洋式大便器4、掃除流し2

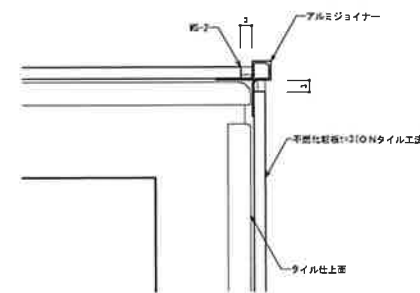
共通事項：化粧不燃板t=3(ONタイル工法) <参考：アイカ「セラル」同等品>



各所トイレ和式便器共通

既設大便器撤去後の床開口は、不要箇所すべて鉄筋コンクリートにて穴埋める。

スラブ補修図 S=1:10



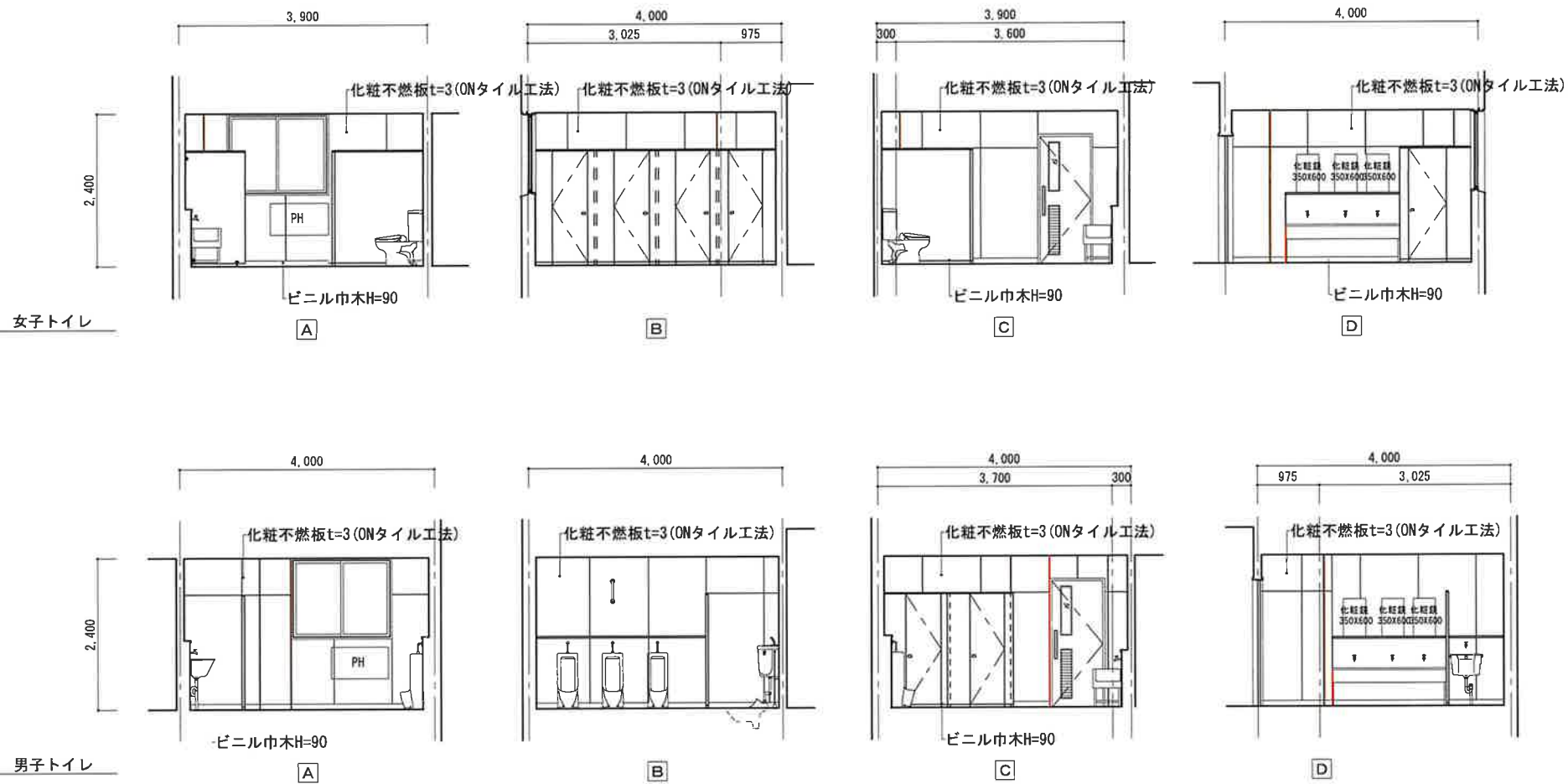
出隅部 S=1:1



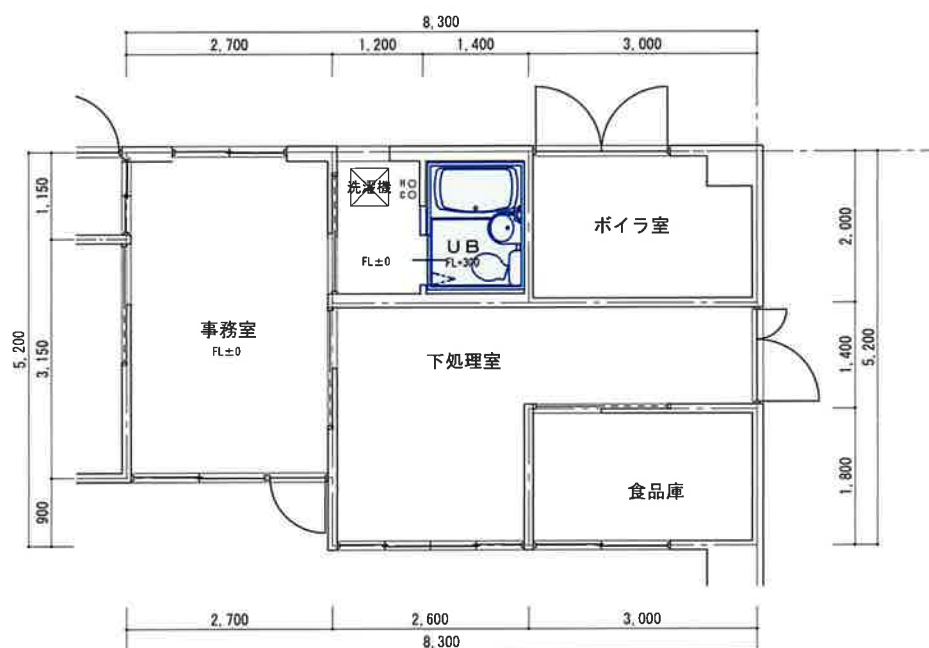
- 床シート貼替及び新規床シート貼り箇所を示す。
- 既存床シート撤去、モルタル金ゴテt=50

改修床伏図 S=1:50

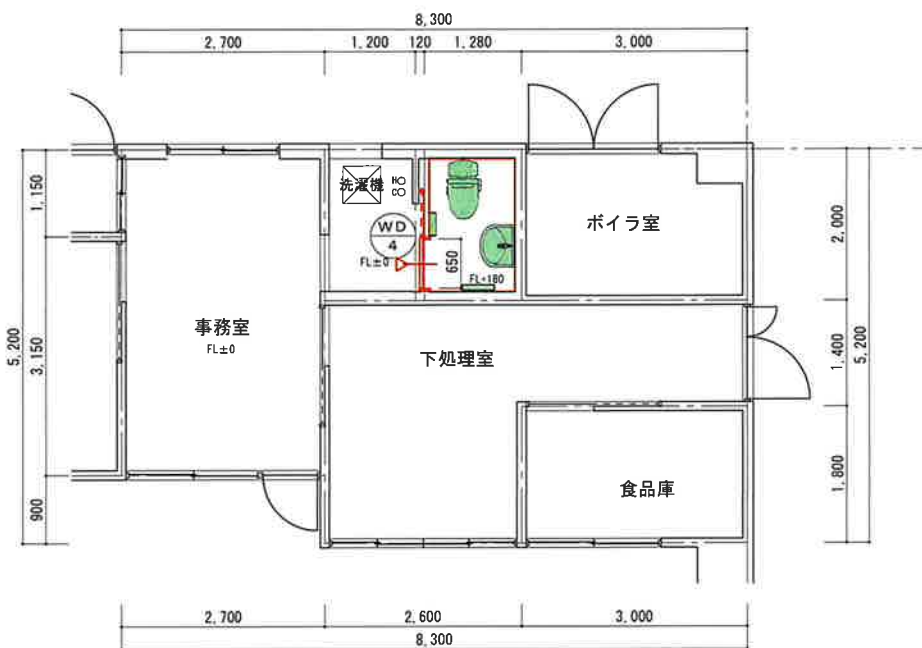




建具符号	使用場所	T B-8	特別教室2階女子トイレ	T B-9	特別教室2階男子トイレ
改修内容		更新		更新	
形状寸法					
種類	数量	トイレブース	1	トイレブース	1
見込	仕上	40	ドアRエッジ・エンドカバー：アルミ押出型材	40	ドアRエッジ・エンドカバー：アルミ押出型材
材質	硝子	メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材：ペーパーコア		メラミン化粧板+MDFフラッシュ、芯材：ペーパーコア	
金物		ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内外開用>・握玉付空錠・帽子掛型戸当 ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式		ラバトリーヒンジ・丁番・表示付スライド錠<内外開用>・握玉付空錠・帽子掛型戸当 ステンレス頭ツナギ・取付け金物一式・その他付属金物一式	



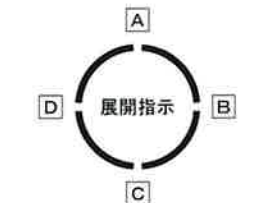
撤去衛生機器を示す  
**現況平面図 S=1:50**



新設衛生機器を示す  
**改修平面図 S=1:50**

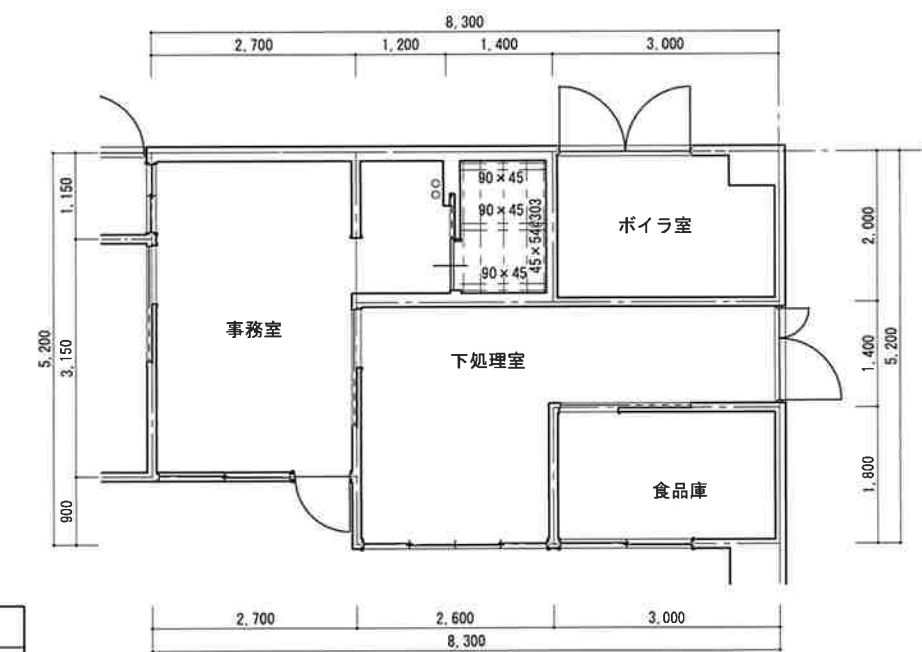


撤去天井(下地共)を示す。  
 LGS天井下地、化粧石膏ボード張りt=9.5、塩ビ廻り縁  
**改修天井伏図 S=1:50**

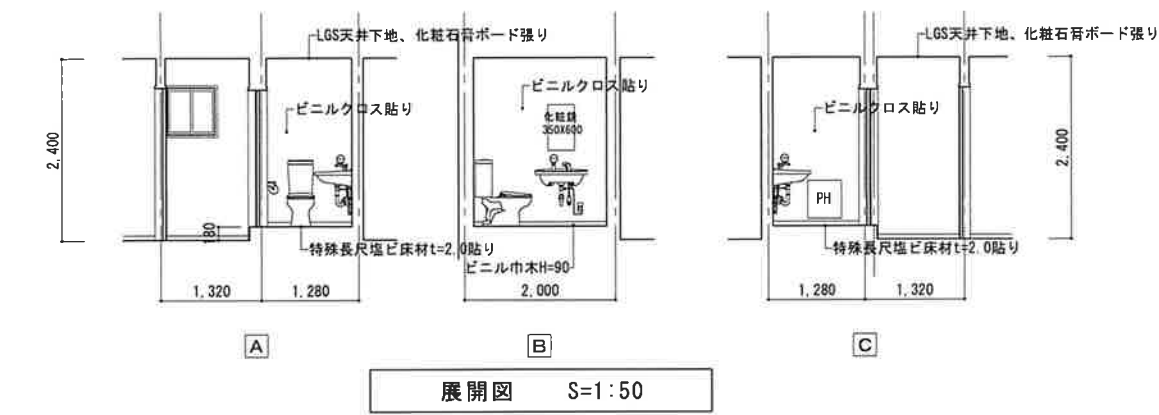


部材	現況	撤去等	改修後
床	現況	長尺塩ビ床シートt=2.5貼り	
	撤去等	清掃、再利用	
	改修後	現状のまま	
巾木	現況	ビニル巾木H=60貼り	
	撤去等	清掃、再利用	
	改修後	現状のまま、一部新設	
壁	現況	化粧ケイカル板張り	
	撤去等	清掃、再利用	
	改修後	現状のまま、一部新設	
天井	現況	LGS(19)、化粧石膏ボードt=9.5張り	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	LGS(19)、化粧石膏ボード張り	
衛生器具	現況	洗濯機、排水金具、水栓(湯・水)	
	撤去等	再利用	
	改修	現状のまま	

部材	現況	撤去等	改修後
床	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	転がし床下地(防蟻防蟻処理)、構造用合板t=12、ラワン耐水合板t=6、特殊ビニル床シート貼り	
巾木	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	ビニル巾木H=90	
壁	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	LGS(90)下地、PB12.5、ビニルクロス貼り	
天井	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	LGS(19)、化粧石膏ボード張り	
出入口建具	現況	ユニットバス(折れ戸)	
	撤去等	解体撤去	
	改修後	額ガリ付き木製フラッシュ片引き戸、木枠、SOP塗り	
衛生器具	現況	ユニットバス	
	撤去等	解体撤去	
	改修	洋式大便器、手洗器(自動水栓、タオル掛け)	





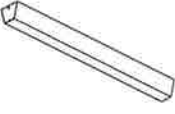



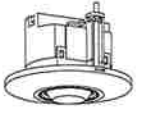
転がし床下地(大引、根太)は、防蟻防蟻処理すること。  
**改修床伏図 S=1:50**



**展開図 S=1:50**

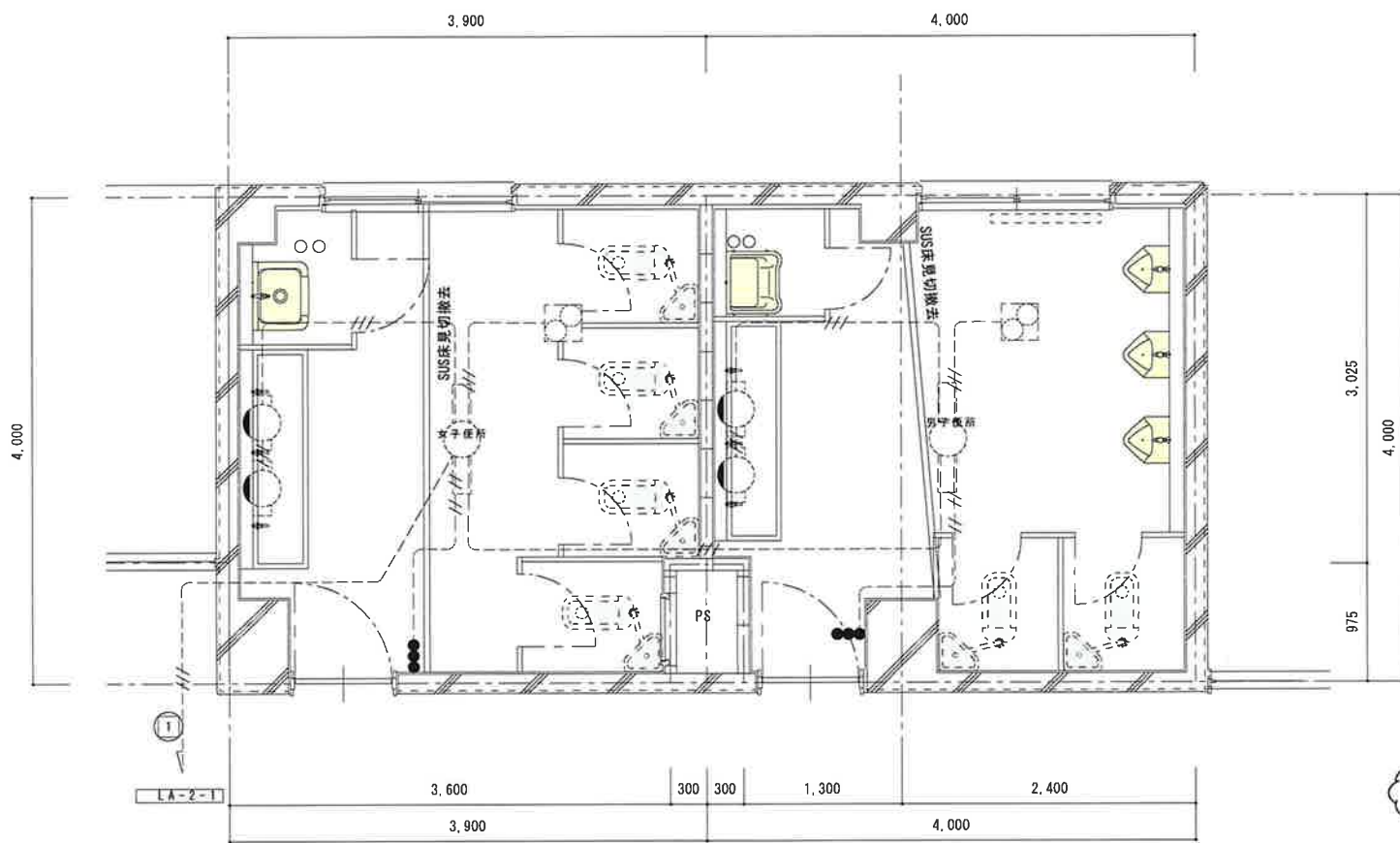
建具符号	使用場所	WD-4	給食室トイレ
改修内容	新設		
形状寸法		1,800	有効幅 650
種類	数量	額ガリ付き片引きフラッシュ戸	1
見込	仕上	40	大手・ガリ SOP塗り
材質	硝子	ポリエステル化粧合板	4mm強化ガラス ビクトグラム150角
金物		戸車、非常開放錠錠、戸スベリ、大型引手	



A	LED直付器具 40形 W120 3200lm	B	LED直付器具 40形 W230 4000lm	C	LEDフック 40形 2000lm
<p style="text-align: center;">LSS94-30</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●LED (昼白色)</li> <li>●寸法：幅120×1,250×高53</li> <li>●定格電圧：AC100V～242V</li> <li>●消費電力：19.5W (AC200V時)</li> <li>●器具光束：3,200 lm</li> <li>●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83</li> </ul> <p>東芝 LEKT412323N-LS9 相当品</p>		<p style="text-align: center;">LSS10-4-37</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●LED (昼白色)</li> <li>●寸法：幅230×1,250×高53</li> <li>●定格電圧：AC100V～242V</li> <li>●消費電力：24.8W (AC200V時)</li> <li>●器具光束：4,000 lm</li> <li>●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83</li> </ul> <p>東芝 LEKT423403N-LS9 相当品</p>		<p style="text-align: center;">LBF3MP/RP-4-20</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●LED (昼白色)</li> <li>●寸法：幅130×1288×高105</li> <li>●定格電圧：AC100V～242V</li> <li>●消費電力：19.7W (AC200V時)</li> <li>●器具光束：2,000 lm</li> <li>●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83</li> </ul> <p>東芝 LEDB-40940N-LS9 相当品</p>	
D	LEDダウナイト 2000形 150φ	E	LEDダウナイト 1000形 150φ	F	LED屋外用フック 20形
<p style="text-align: center;">LRS1-17</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>◆LEDダウナイト</li> <li>●器具寸法：幅169×298×埋込高106</li> <li>●定格電圧：AC100V～242V</li> <li>●消費電力：14.0W (AC200V時)</li> <li>●器具光束：2,100lm</li> <li>●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83</li> </ul> <p>東芝 LEKD203025N-LS9 相当品</p>		<p style="text-align: center;">LRS1-08</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>◆LEDダウナイト</li> <li>●器具寸法：幅169×298×埋込高106</li> <li>●定格電圧：AC100V～242V</li> <li>●消費電力：7.9W (AC200V時)</li> <li>●器具光束：1,080lm</li> <li>●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83</li> </ul> <p>東芝 LEKD103025N-LS9 相当品</p>		 <ul style="list-style-type: none"> <li>●LED屋外用ブラケット (ランプ付)</li> <li>●寸法：幅126×110×高660</li> <li>●定格電圧：AC100～242V</li> <li>●消費電力：10W</li> <li>●器具光束：690lm</li> </ul> <p>東芝 LEDB83911 相当品</p>	
		Mc	Sensor Auto Switch		
		 <p>WDG8821 相当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●寸法：φ100×85.3</li> <li>●3A-100V～242V</li> <li>●明るさセンサー付 (切-明るめ-暗め)</li> <li>●動作時間 (約5秒～30分切換)</li> <li>●検知表示LED (赤色) 付</li> <li>●ニューホワイト色</li> <li>●単独使用可能</li> <li>◆人感スイッチ天井取付形・親器・電圧フリー・広角検知形</li> </ul>			

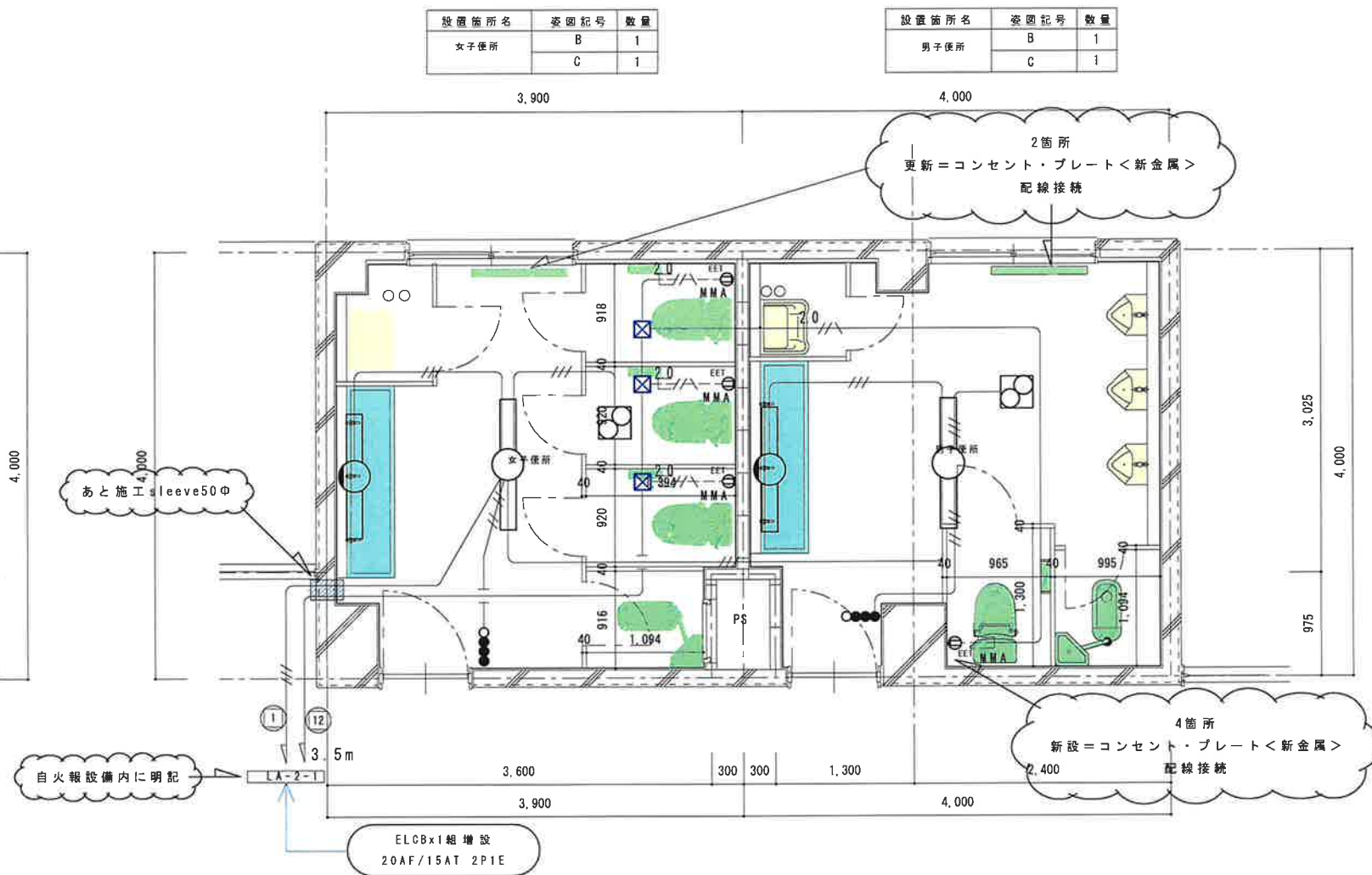






- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

現況平面図 S=1:30



- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)

改修平面図 S=1:30

imp:校舎棟内全て解体後復旧です(床・壁・天井)

特記なき配線は下記による。

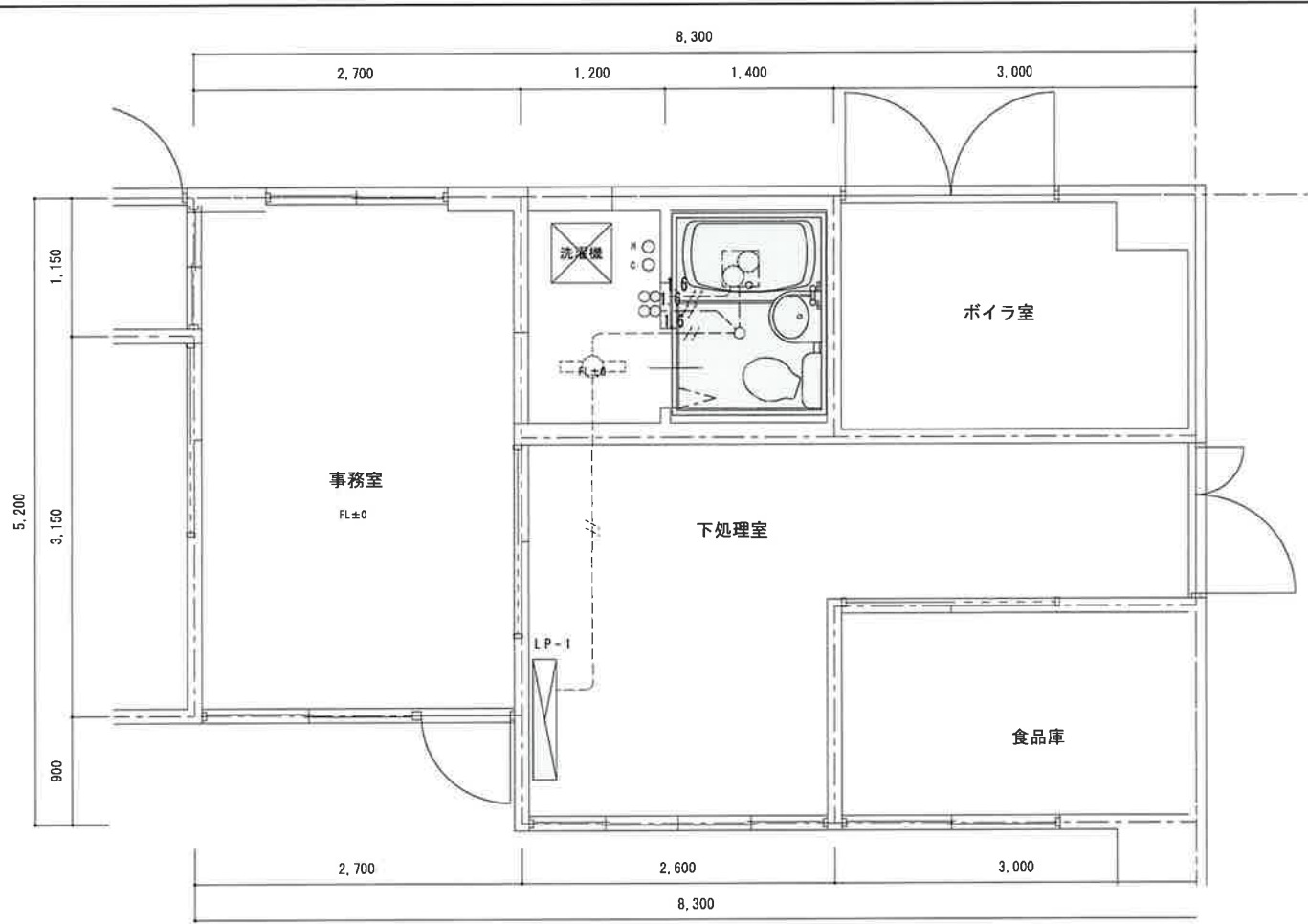
記号	名称	備考
———	EM-EEF1.6-3C	改修
---#---	EM-EEF1.6-3C(25)	既存
———	EM-EEF1.6-2C×2	改修
---#---	EM-EEF1.6-2C×2(25)	既存
———	EM-EEF2.0-2C+E	改修
---#---	EM-EEF2.0-2C+E(25)	既存

特記なき記号は下記による。

記号	名称	高さ	備考
	LEDウォールライト壁付型	2400	改修
	LED直付天井灯(反射笠付型)	2400	改修
	蛍光灯 FHF32×1	2400	既存
	蛍光灯 FL20×1(壁付)	2400	既存
	コンセント壁付(接地極付接地端子付)	300	改修
	スイッチ3個	1300	改修

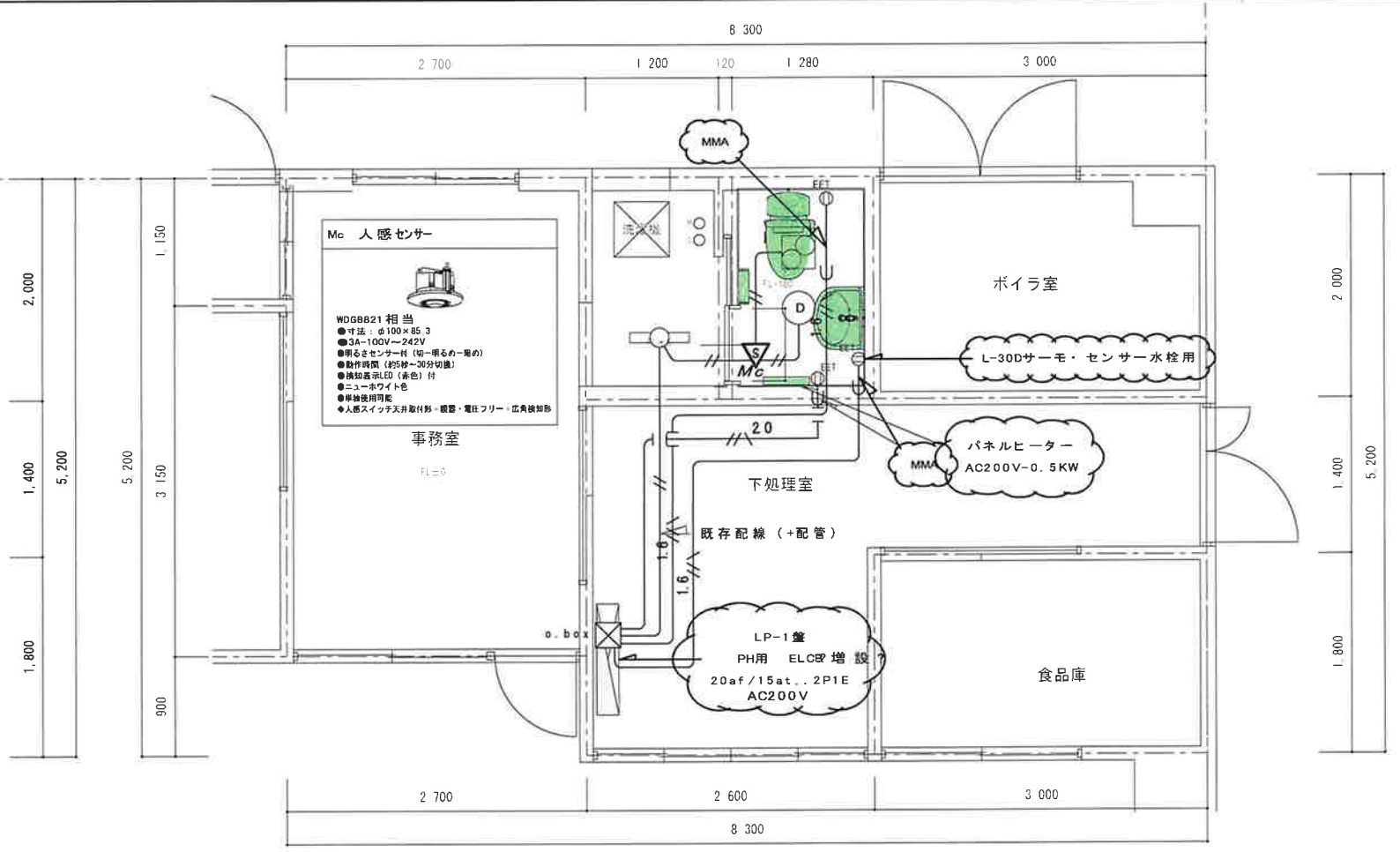






撤去衛生機器を示す

給食室トイレ改修図 現況平面図 S=1:30



新設衛生機器を示す

改修平面図 S=1:30

設置箇所名	装置記号	数量
職員トイレ	D	1

特記：(床・壁・天井)は解体後復旧とする。

特記なき配線は下記による。

記号	規格	状態
---	VVF2.0-3C(PF22)	既存
1.6	VVF1.6-2C(PF16)	既存
---	VVF1.6-2C(E19)	既存
#	EM-EEF1.6-2C	改修
2.0	EM-EEF2.0-3C	改修

特記なき記号は下記による。

記号	名称	高さ	備考
○	LEDダウンライト	2400	更新
○	白熱灯	2400	撤去
○	蛍光灯 FL40×1	2400	残置
EET	コンセント壁付(接地極付接地端子付)	300	《新設》
8	スイッチ+確認表示灯	1300	《新設》
LP-1	配電盤 LP-1	2400	既存
Mc	人感センサー 隠蔽型・DS-1type	2400	《新設》







片丘小学校トイレ改修工事

(機械設備工事)

I. 工事概要

Table with project details: 1. 工事場所 (塩尻市), 2. 建物概要 (教室棟), 3. 工事種目 (トイレ改修).

Table with construction items: 1. 電気設備 (電気図), 2. 配管 (配管図), 3. 衛生設備 (衛生設備図), 4. 給排水設備 (給排水設備図).

Table with specifications: 1. 電気設備 (電圧, 配線), 2. 配管 (材質, 径), 3. 衛生設備 (便器, 洗面器), 4. 給排水設備 (配管, 弁).

Table with management personnel: 1. 設計事務所 (塩尻市), 2. 管理技術者 (塩尻市).

Table with construction details: 1. 基礎 (基礎), 2. 躯体 (躯体), 3. 屋根 (屋根), 4. 外装 (外装), 5. 内装 (内装).

III. 工事仕様

Table with specifications: 1. 共通仕様 (材料, 施工), 2. 電気設備 (配線, 機器), 3. 配管 (材質, 径), 4. 衛生設備 (便器, 洗面器), 5. 給排水設備 (配管, 弁).

II. 管理技術者等

Table with management personnel: 1. 設計事務所 (塩尻市), 2. 管理技術者 (塩尻市).

Table with construction details: 1. 基礎 (基礎), 2. 躯体 (躯体), 3. 屋根 (屋根), 4. 外装 (外装), 5. 内装 (内装).

Table with specifications: 1. 電気設備 (電圧, 配線), 2. 配管 (材質, 径), 3. 衛生設備 (便器, 洗面器), 4. 給排水設備 (配管, 弁).

III. 工事仕様

Table with specifications: 1. 共通仕様 (材料, 施工), 2. 電気設備 (配線, 機器), 3. 配管 (材質, 径), 4. 衛生設備 (便器, 洗面器), 5. 給排水設備 (配管, 弁).

① 管の埋設表示

Table with pipe specifications: 1. 管の埋設表示 (材質, 径), 2. 衛生設備 (便器, 洗面器), 3. 給排水設備 (配管, 弁).

Table with specifications: 1. 電気設備 (電圧, 配線), 2. 配管 (材質, 径), 3. 衛生設備 (便器, 洗面器), 4. 給排水設備 (配管, 弁).

Table with management personnel: 1. 設計事務所 (塩尻市), 2. 管理技術者 (塩尻市).

Table with construction details: 1. 基礎 (基礎), 2. 躯体 (躯体), 3. 屋根 (屋根), 4. 外装 (外装), 5. 内装 (内装).

III. 工事仕様

Table with specifications: 1. 共通仕様 (材料, 施工), 2. 電気設備 (配線, 機器), 3. 配管 (材質, 径), 4. 衛生設備 (便器, 洗面器), 5. 給排水設備 (配管, 弁).

② 管の埋設表示

Table with pipe specifications: 1. 管の埋設表示 (材質, 径), 2. 衛生設備 (便器, 洗面器), 3. 給排水設備 (配管, 弁).

Table with specifications: 1. 電気設備 (電圧, 配線), 2. 配管 (材質, 径), 3. 衛生設備 (便器, 洗面器), 4. 給排水設備 (配管, 弁).

Table with management personnel: 1. 設計事務所 (塩尻市), 2. 管理技術者 (塩尻市).

Table with construction details: 1. 基礎 (基礎), 2. 躯体 (躯体), 3. 屋根 (屋根), 4. 外装 (外装), 5. 内装 (内装).

III. 工事仕様

Table with specifications: 1. 共通仕様 (材料, 施工), 2. 電気設備 (配線, 機器), 3. 配管 (材質, 径), 4. 衛生設備 (便器, 洗面器), 5. 給排水設備 (配管, 弁).





凡 例 (衛生)		※○印は採用を示す・□印は備考欄を(おも)採用	
記号	名称	材質NO	備考
○	給水管(上水)	6	埋設: 7
○	給水管(井水)	5	埋設: 21
○	給湯管(湯)	1	電気化給湯器用高出度90°C
○	給湯管(湯)	1	電気化給湯器用高出度90°C
○	汚水・雑排水管	26	1,2階=耐火二層管vp
○	屋外排水管	17	
— S P —	消火栓管	2	埋設: 22
— G —	プロパン用ガス管	1	埋設: 24 (白ガス管+防食処理材=使用不可) 和貫通・打ち込み: 管継ぎ防止+外面保護鋼管
— K —	厨房排水管(高温排水)	2	
— P U —	ポンプアップ排水管	2	埋設: 21
○	仕切弁	JISSK, (D)	
○	バタフライ弁	JIS10K(65A以上)	
○	逆止弁	JIS10K	
○	埋設弁・不凍栓	JIS10K 不凍栓はBOX・蓋共	
○	防鼠籠手	合成ゴム製	
○	可とう籠手	ステンレス製	
○	ストレーナー		
FM	定水位弁		
BT	ボールタップ		
○	水栓(水・湯)		
○	フラッシュ弁		
○	湯水混合水栓		
○	シャワー金具		
○	床排水トラップ	T3A (非防水)・T3B (防水)	
○	床上げ除口	COA (非防水)・COB (防水)	
○	床下げ除口		
○	排水用トラップ		
○	屋内消火栓箱	火報箱込	
○	屋内消火栓箱(放水口付)	火報箱込	
○	屋外消火栓箱		
○	間接排水金物		
○	水栓柱	樹脂製H=900	
○	水抜栓		
○	地中埋設標示	結核磁器	
○	放水栓		
○	取水補助栓	火報箱込	

記号	名称	材質NO	備考
△	送水口		
○	テスト弁		
○+	ガスコック		
M	量水器		貸与品
GM	ガスメータ		S型(貸与品)
M	私設量水器		パルス発信式
□	汚水側(現場打)		インバート鋼管 MHA: 中継 MHB: 終着型
T	トラップ側(現場打)		ため鋼管 MHA: 中継 MHB: 終着型
消	第5種ABC粉末消火器+表示板	3: A-3単位 10: A-10単位	
消	第5種ABC粉末消火器+表示板+BOX	3: A-3単位 10: A-10単位	※表示特記による
消	第4種ABC粉末車載消火器+表示板		※表示特記による
○	機器・器具接続位置		
○	小口径埋込側		蓋等は例(2)参照
○	不凍栓・BOX・蓋		BOX=300Φ

管材リスト			
NO	名称	型番	備考
1	水道用亜鉛メッキ鋼管	JISG3442	
2	配管用炭素鋼管(白)	JISG3452	
3	配管用炭素鋼管(黒)	JISG3452	
4	圧力配管用炭素鋼管	SCH40	
5	水道用硬質塩化ビニリング鋼管	SGP-VA・K-VA	
6	水道用硬質塩化ビニリング鋼管	SGP-VB・K-VB	JWWAK-116
7	水道用硬質塩化ビニリング鋼管	SGP-VD・K-VD	
8	ポリエチレン粉体ライニング鋼管	SGP-PA	
9	ポリエチレン粉体ライニング鋼管	SGP-PD	
10	一般配管用ステンレス鋼管	JISG3448	
11	水道用ステンレス鋼管	JWWAG115	
12	排水用硬質塩化ビニリング鋼管	WSP042	(MO継手)
13	排水用タールエポキシ塗装鋼管	WSP032	
14	排水用塩化ビニルコーティング鋼管		
15	排水用鋼管(メカニカル)	HASS210	
16	排水用鉛管	HASS203	
17	硬質塩化ビニル管	VP	
18	ヒューム管	外圧一種B型	
19	鋼管	(L)	
20	鋼管	(M)	
21	新着管塩化ビニ管 屋内外両用塩化ビニリング鋼管		HVP 屋内: VD
22	消火用外面被覆鋼管		
23	ガス用外面被覆鋼管(黒)		
24	ガス用ポリエチレン管		
25	耐熱性塩化ビニリング鋼管	SGP-HVA・K-HVA	土中配管 内外両用鋼管
26	耐火二層管		2012年 VP
27	耐熱性塩化ビニ管	HTLP	※既設用はHTLP



凡例 (空調) ※○印は採用を示す

採用	記号	名称	材質 NO	備考
	SA	空調送気ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	RA	空調送気ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	OA	換気送気ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	EA	排気ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	A×B	矩形ダクト		亜鉛鍍鉄板製
○	○	丸ダクト		○ スパイラルダクト (鋼板製)
	SM	排煙ダクト		亜鉛鍍鉄板製
	////	耐火被覆ダクト		亜鉛鍍鉄板 1.6t +ロックウール 5.0m/m巻き
○	○	丸ダクト (アルミフレキダクト)		○ 丸材 71 (丸製)
○	F D・H F D	防火ダンパー		排煙用は、280℃
	V D	風量調整ダンパー		
	F V D	風量調整兼用防火ダンパー		
	S F D	煙感知器連動ダンパー		
	C D	逆流防止ダンパー		
	M D	モーターダンパー		
○	←	深型フード 材質=面示特記 ペントキャップ 材質=SUS製		色は外壁の近似色 熱度は20%以下・止まり木型不可
	□	吹出口		
	□	吸込口		
	□	排煙口		手動開放装置付 (電気式)
	■	たわみ継手		
	■	消音エルボ		GW25.50m/m内貼り
	■	消音ボックス		GW25.50m/m内貼り
	VAV	可変風量装置		
	CAV	定風量装置		
	C	冷水管 (送)	2	
	CR	冷水管 (送)	2	
	H	温水管 (送)	2	
	HR	温水管 (送)	2	
	CH	冷温水管 (送)	2	
	CHR	冷温水管 (送)	2	
	CD	冷却水管 (送)	2	
	CDR	冷却水管 (送)	2	
	E	配湯管	2	
	S	蒸気管 (送)	4	
	SR	蒸気管 (送)	4	
	O	油管 (送)	3	
	OR	油管 (送)	3	
	OV	油管 (送戻)	3	
	R	冷媒管 (送、返共)	22	又は、メーカー規格
○	D	ドレン管	17	and ACドレン管 樹脂管+化粧断熱材巻違管
	-	加湿用給水管	6	

採用	記号	名称	材質 NO	備考
○	GV	仕切弁		JIS5K、10K
	BV	バタフライ弁		JIS10K (65A以上)
	SV	玉形弁		JIS10K
○	CV	逆止弁		JIS10K
	GV	埋設弁		JIS10K
○	○	防振継手		合成ゴム製
○	○	可とう継手		ステンレス製 取付金具・ピース等含む
	○	ストレーナー		
	EXJ、D	伸縮継手 (複式)		取付金具・ピース等含む
	M	二方弁装置		二位蝶式・O、運転運転 本体・O、Iスト・パイパス回路
	M	三方弁装置		※今回は更新なし
	○	電磁弁装置		
	○	電磁流量計装置		
	○	減圧弁装置		
	○	蒸気トラップ装置		
○	○	安全弁、逆止弁		
	○	自動エア抜き装置		
○	○	圧力計		
○	○	温度計		
	○	瞬間流量計		
	OM	油量計		パルス式
○	○	自動空気抜き装置		本体・GV・Y型 ストレーナ 口径は図示
	○	油濁気合物		※GL+4000以上・開口部より1m以上に設置 引火防止金網40メッシュ以上

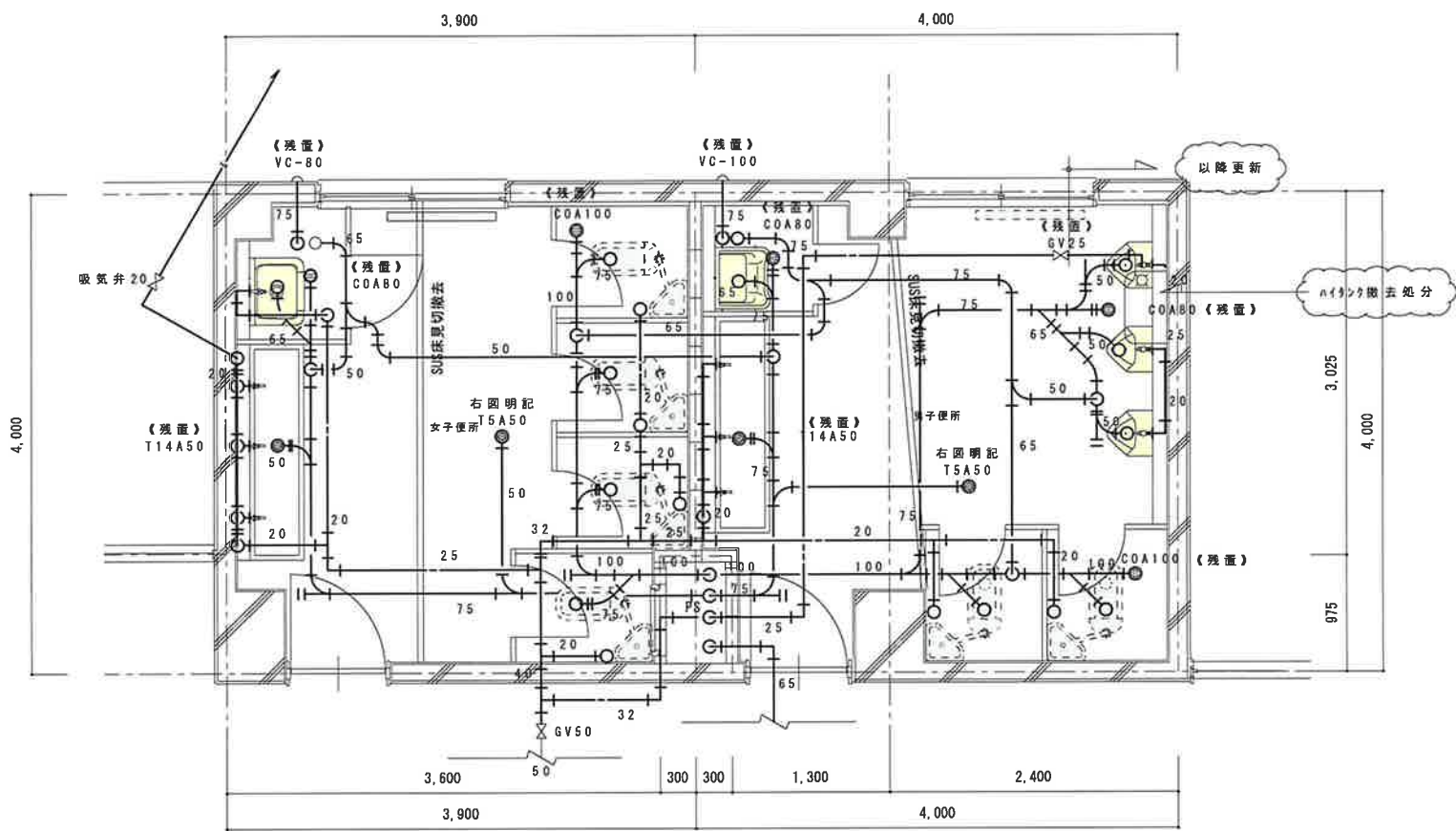
管材リスト

NO	名称	型番	備考
1	水道用亜鉛メッキ鋼管	JISG3442	
2	配管用炭素鋼管 (白)	JISG3452	
3	配管用炭素鋼管 (黒)	JISG3452	
4	圧力配管用炭素鋼管 (黒)	JISG3454	STPG370 sch40
5	水道用硬質塩化ビニル管	JWWAK116	SGP-VA
6	水道用硬質塩化ビニル管	JWWAK116	SGP-VB
7	水道用硬質塩化ビニル管	JWWAK116	SGP-VD
8	ポリエチレン粉体ライニング鋼管	JWWAK132	SGP-PA
9	ポリエチレン粉体ライニング鋼管	JWWAK132	SGP-PD
10	一般配管用ステンレス鋼管	JISG3448	
11	水道用ステンレス鋼管	JWWAG115	
12	排水用硬質塩化ビニル管	WSP042	
13	排水用タールエポキシ塗層鋼管	WSP032	
14	排水用塩化ビニルコーティング鋼管		
15	排水用銅管 (メカニカル)	HASS210	
16	排水用鉛管	HASS203	
17	硬質塩化ビニル管	JISK6741	VP
18	ヒューム管	JISA5303	外圧一種B型
19	鋼管	JISH3300	[L]
20	鋼管	JISH3300	[M]
21	内外面ナイロンコーティング鋼管		ハイグレード
22	冷媒用塩化銅管		メーカー保障仕様
23	耐熱性塩化ビニル管	SGP-HVA、K-HVA	土中配管・内外面塩化銅管



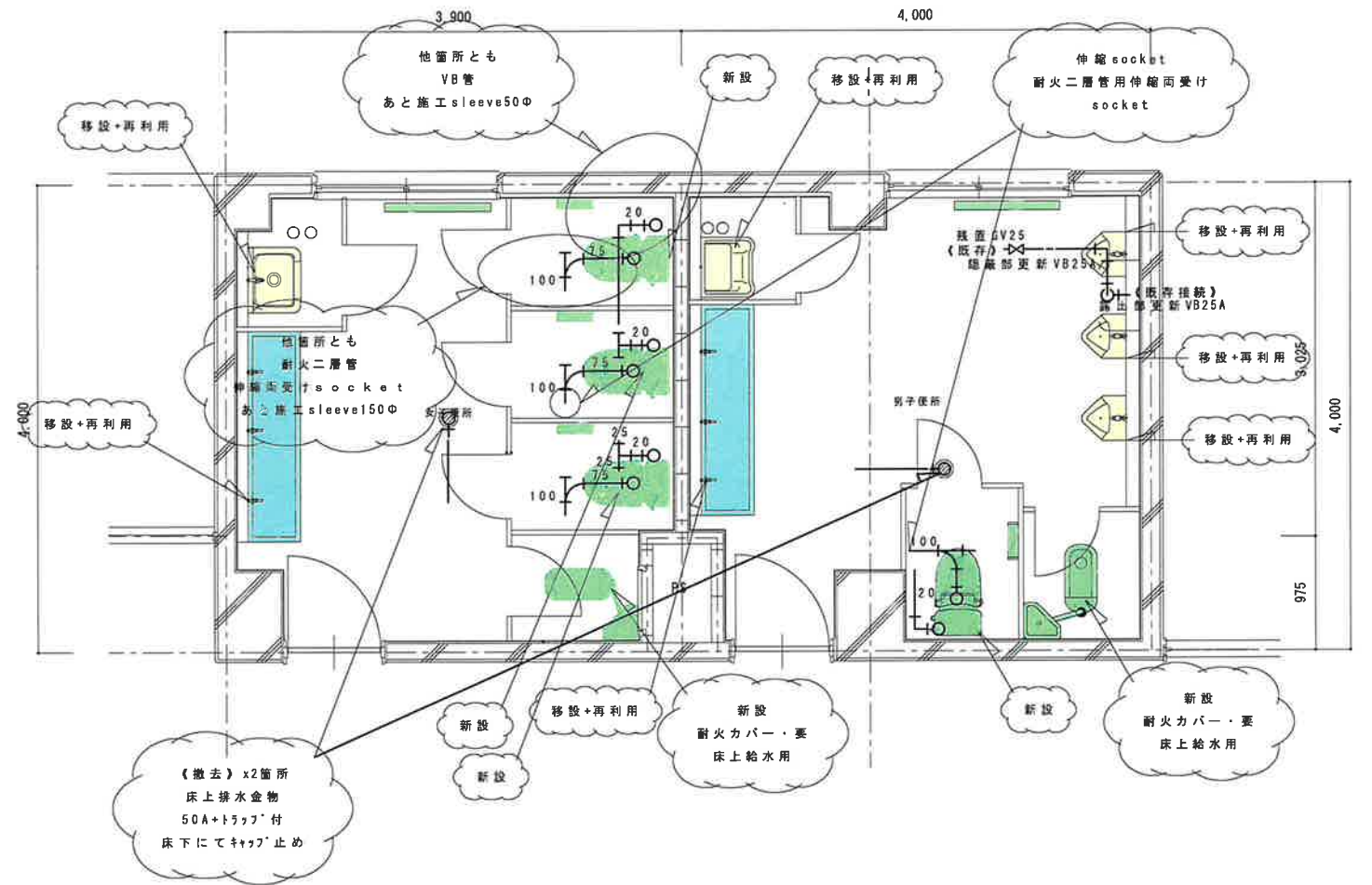






- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

現況平面図 S=1:30



- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)

明記無き配管・その他は、現状通り。  
明記有るものは、改修通り。

改修平面図 S=1:30

床・壁・天井は解体後更新工事有。

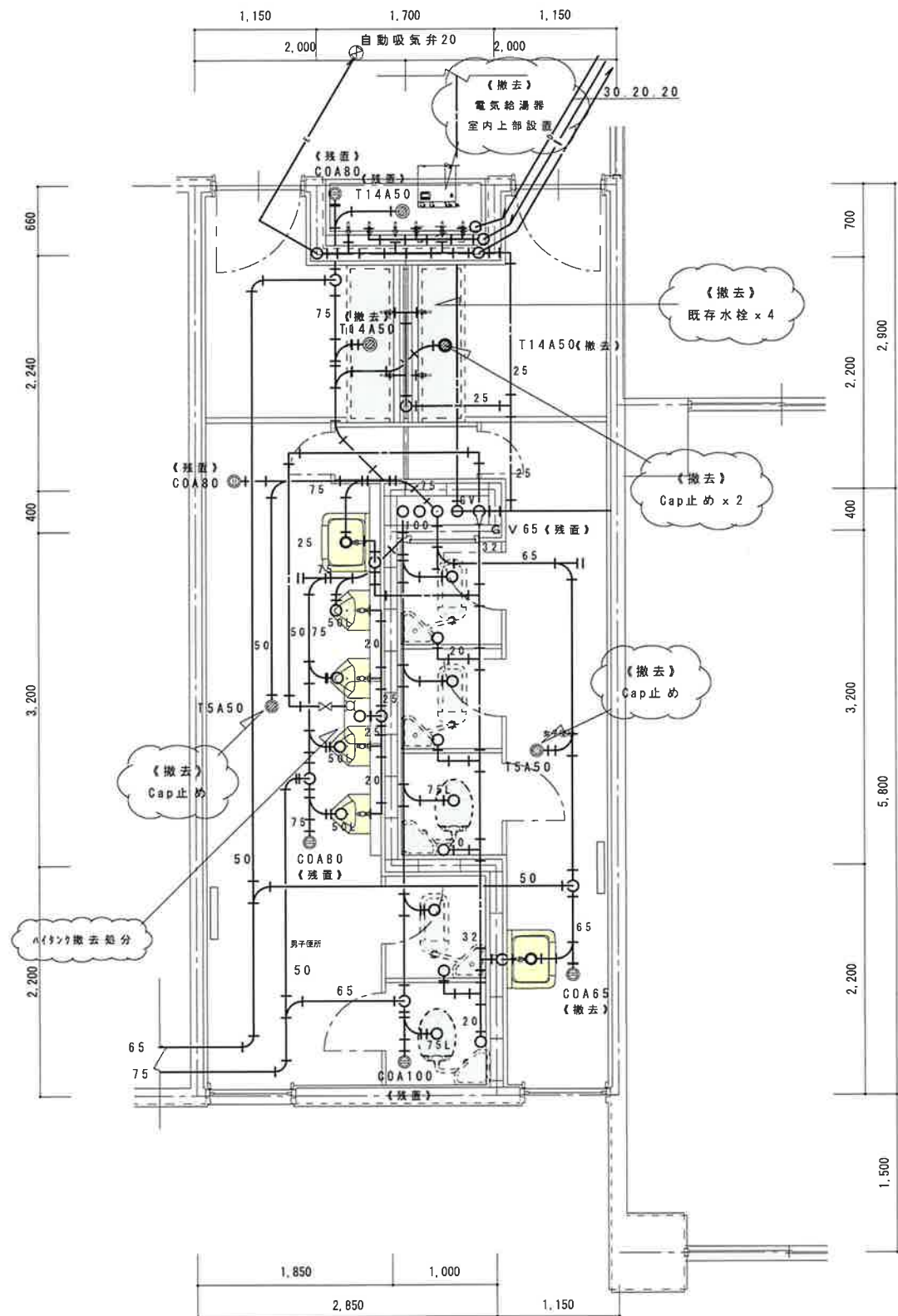
あと施工 sleeve  
あと施工 anchor

耐火処理材充填

機械設備 = 同上に伴い(撤去or取り外す)+再取付or更新有り

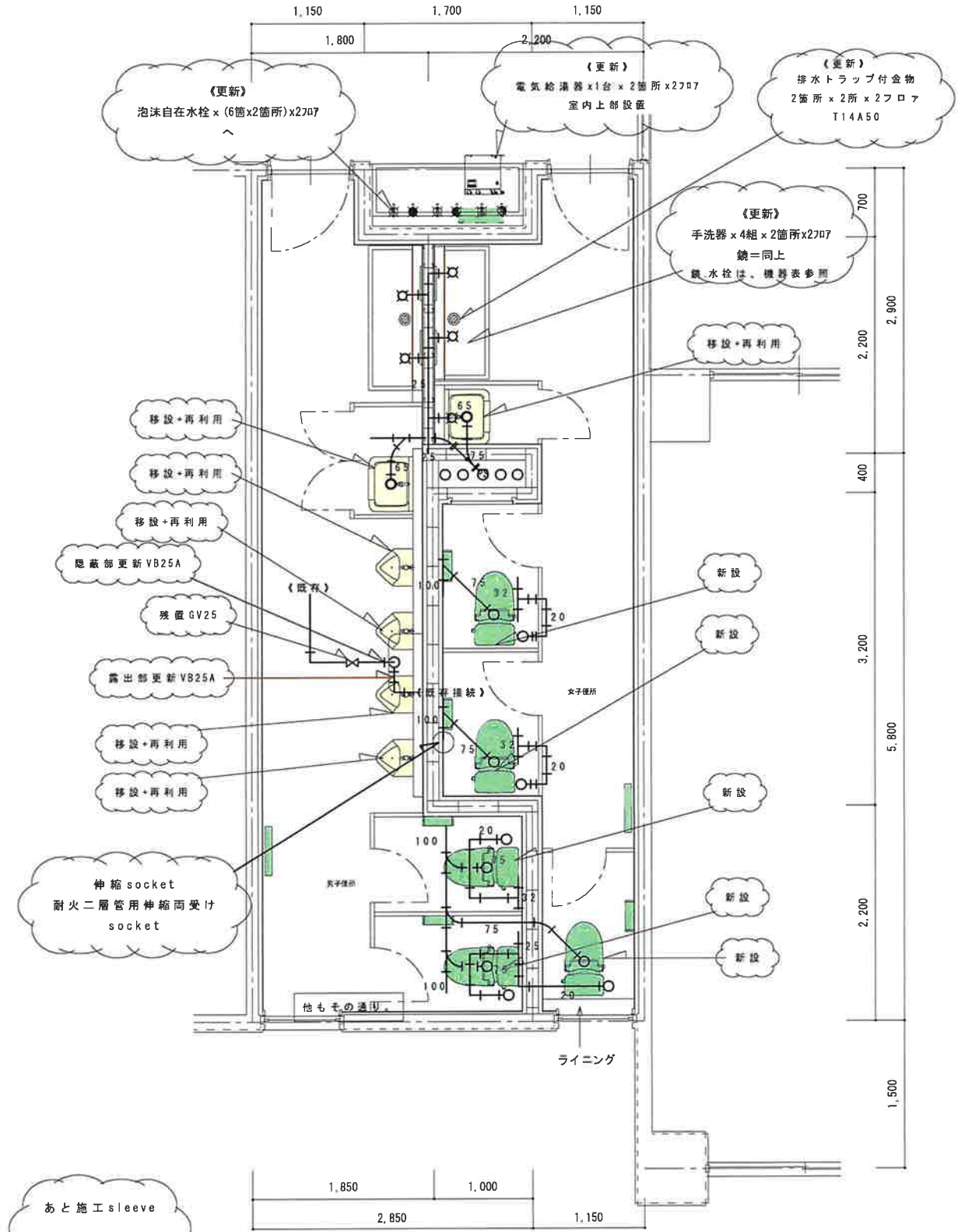






- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

現況平面図 S=1:30



- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)

あと施工 sleeve  
耐火処理材充填

あと施工 sleeve  
50φ  
耐火処理材充填  
超音波検査 Check

改修平面図 S=1:30

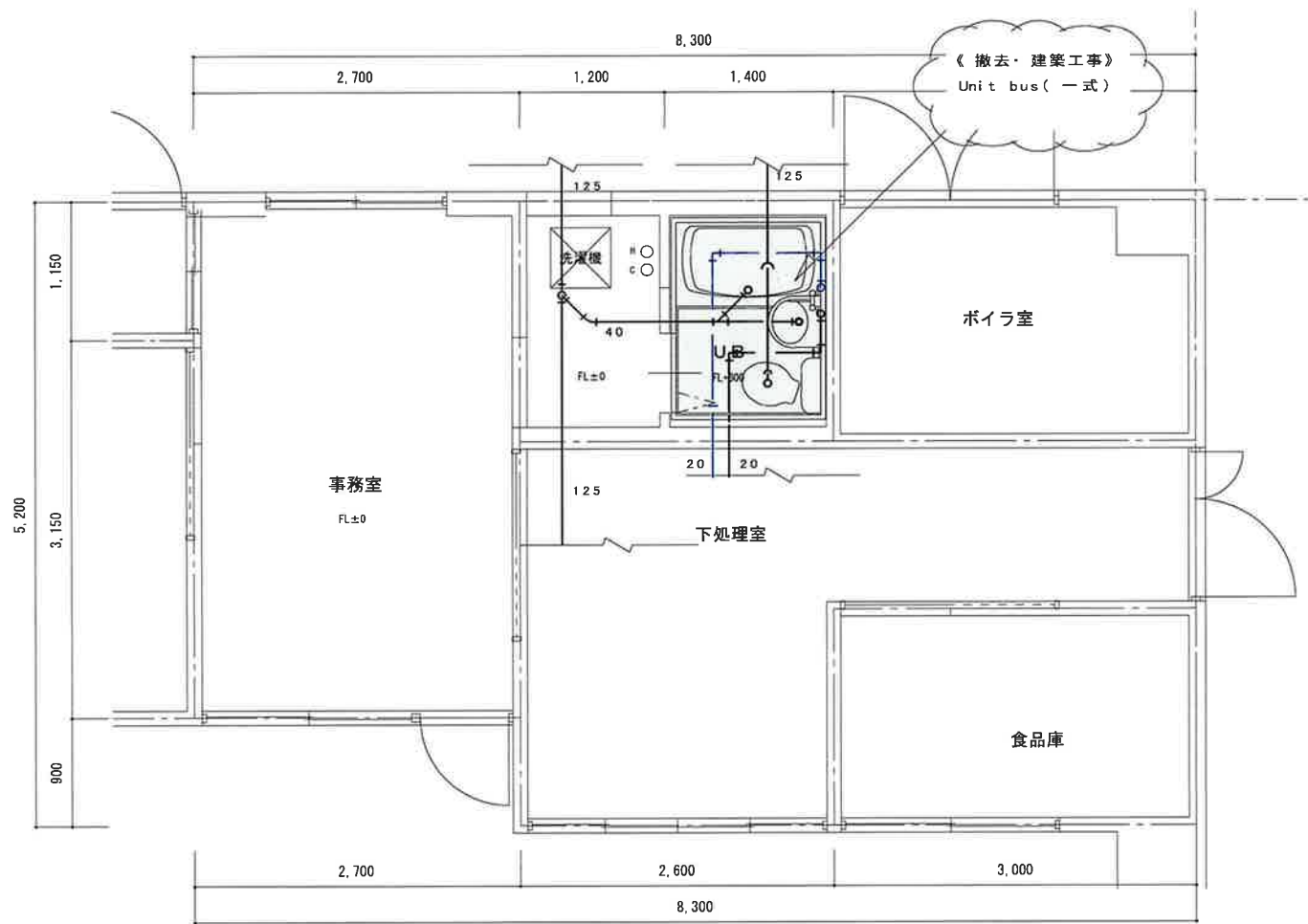
あと施工 sleeve  
あと施工 anchor

かつ7~8通り間及び19~20通り間の2箇所  
明記無き配管・その他は、現状通り。  
明記有るものは、改修通り。

床・壁・天井は解体後更新工事有。

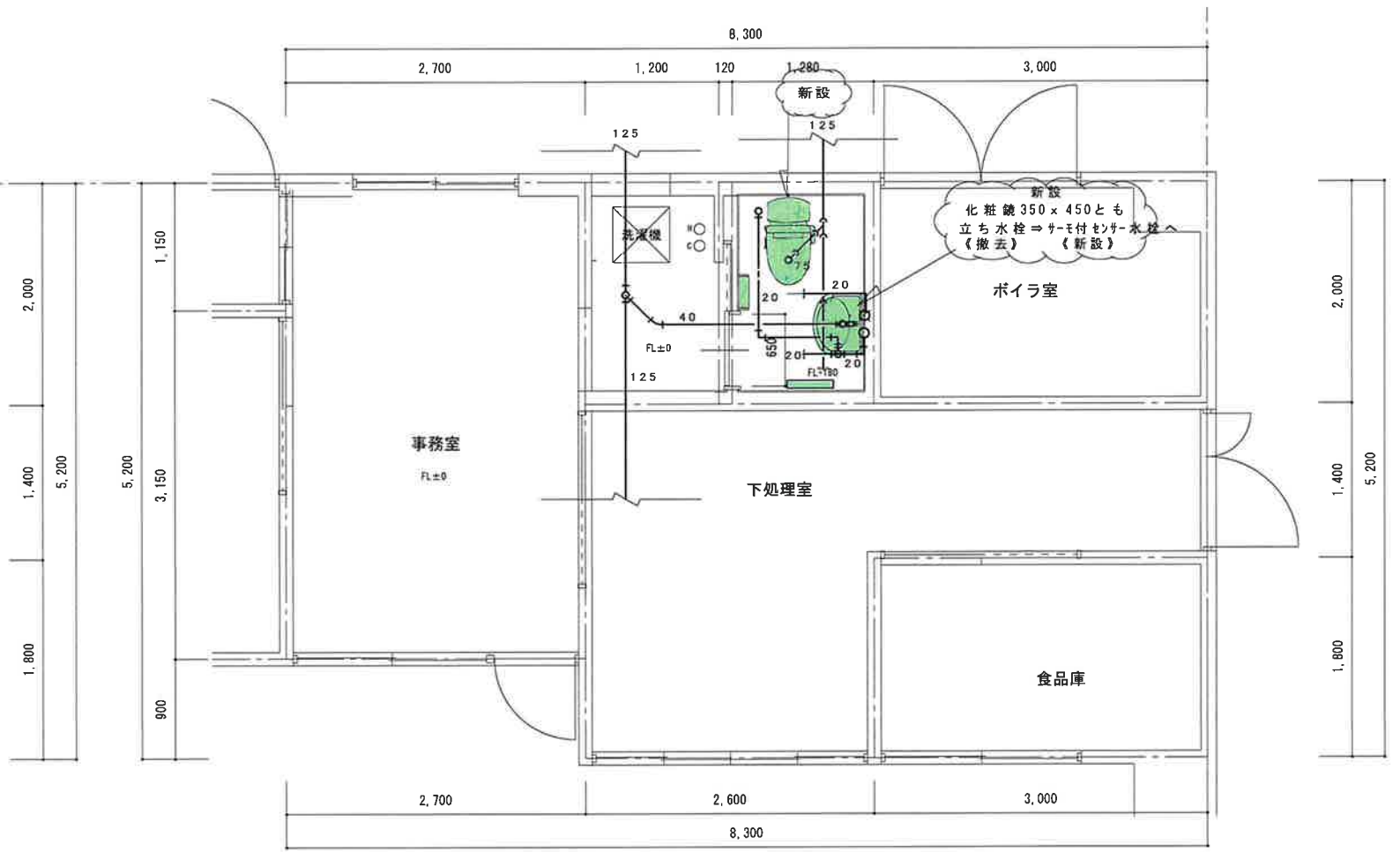
機械設備 = 同様に伴い(撤去or取り外す)+再取付or更新有り





撤去衛生機器を示す

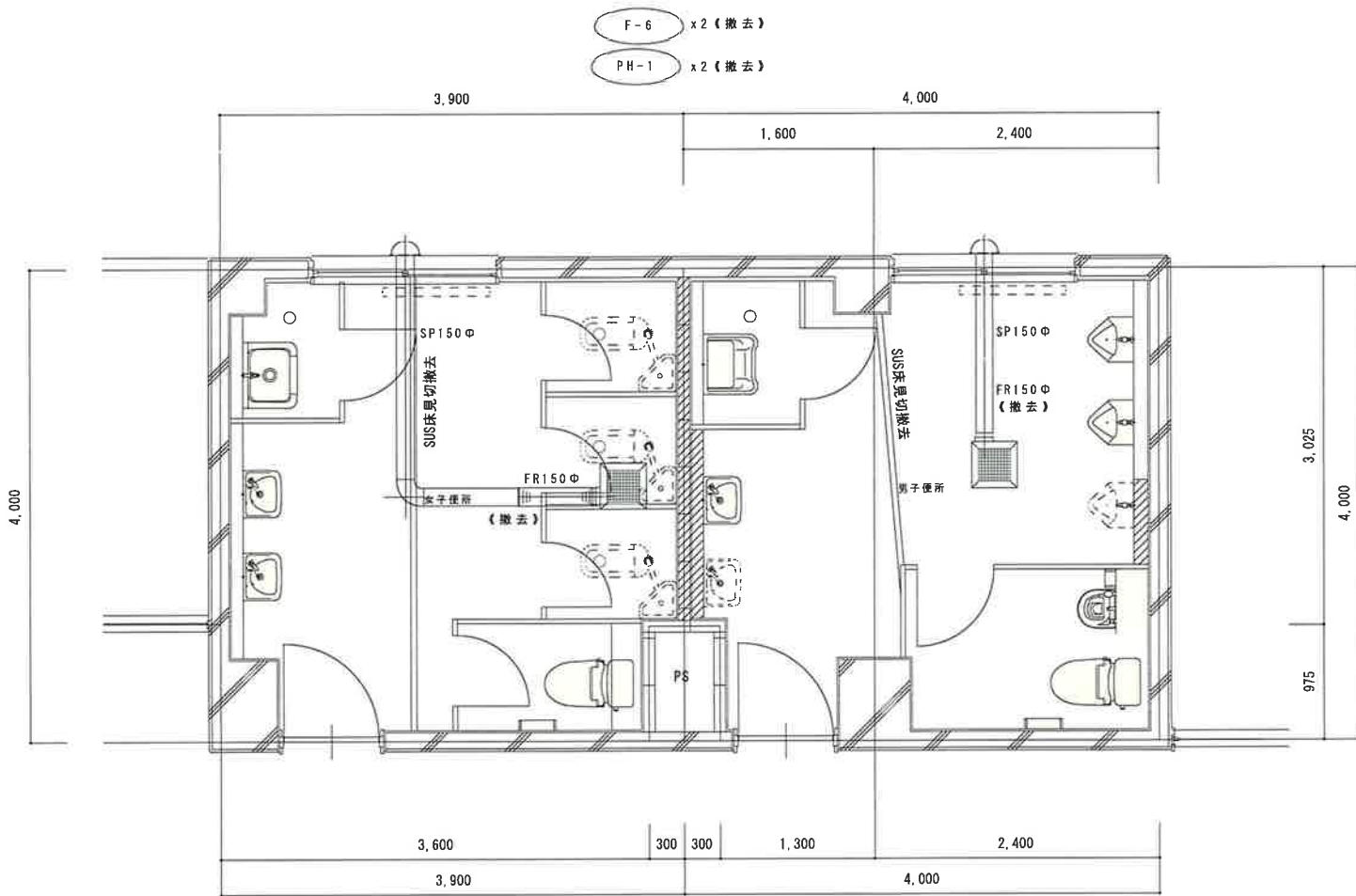
現況平面図 S=1:30



新設衛生機器を示す

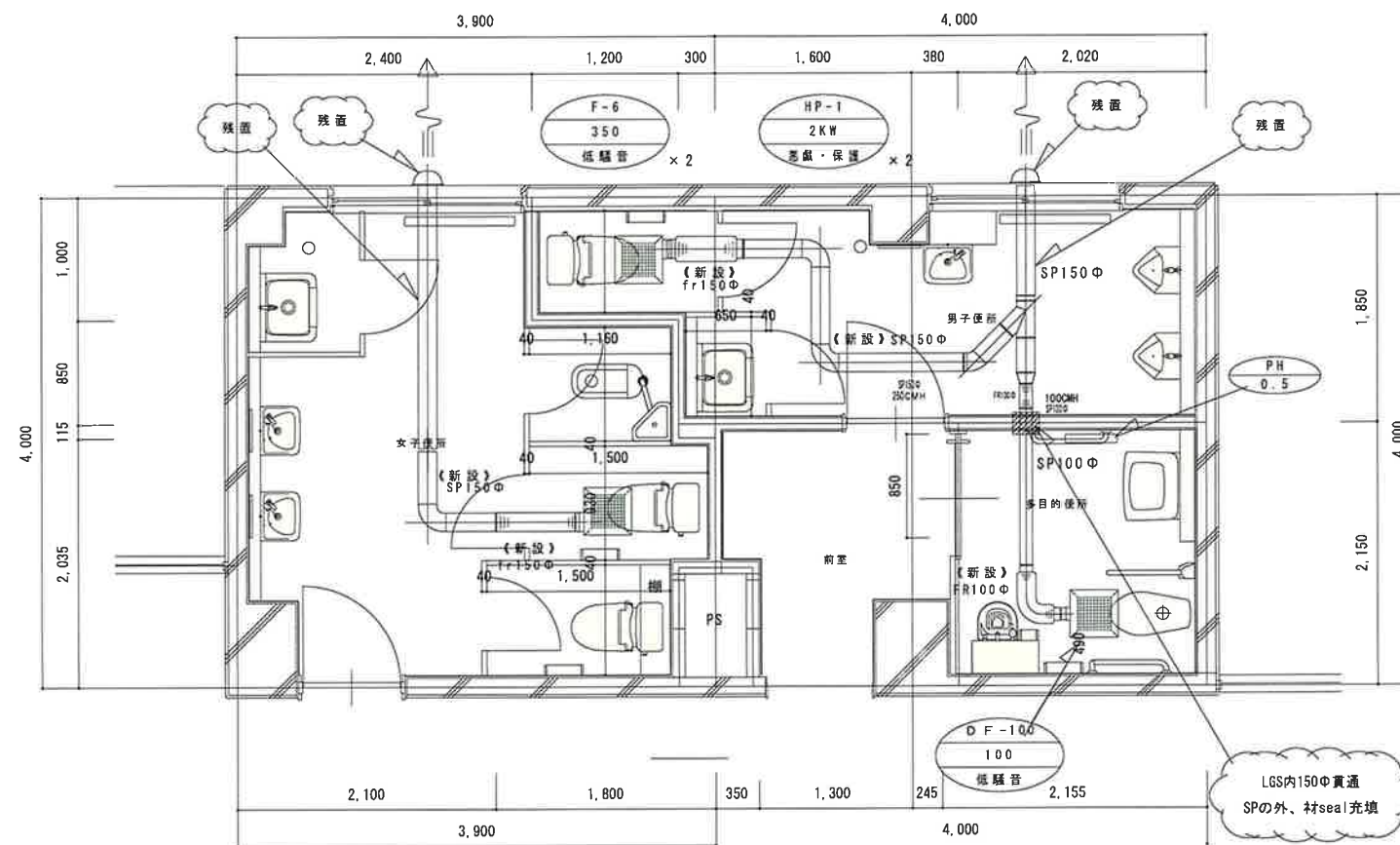
改修平面図 S=1:30

特記: (床・壁・天井)は解体後復旧とする。



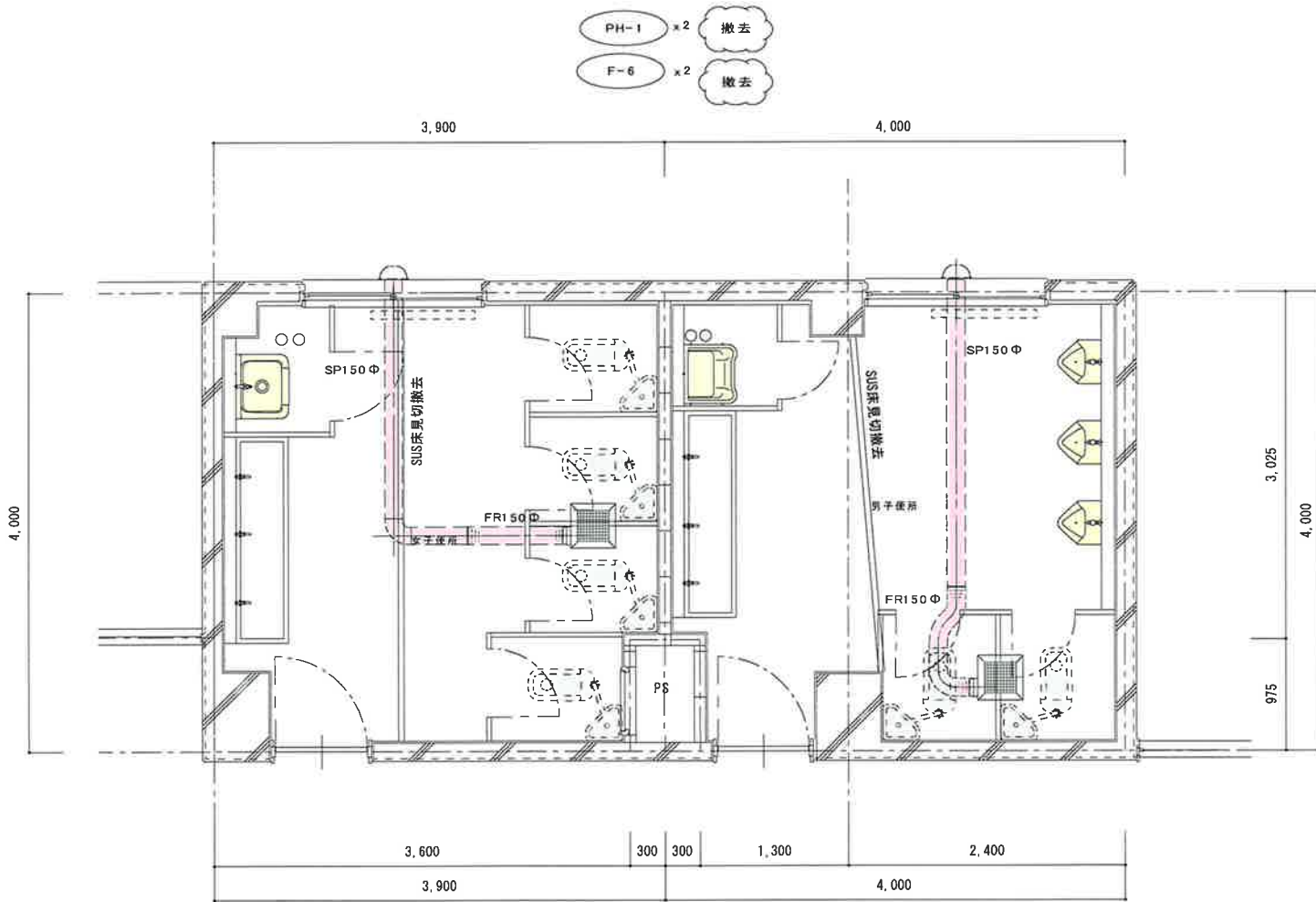
- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

現況平面図 S=1:30



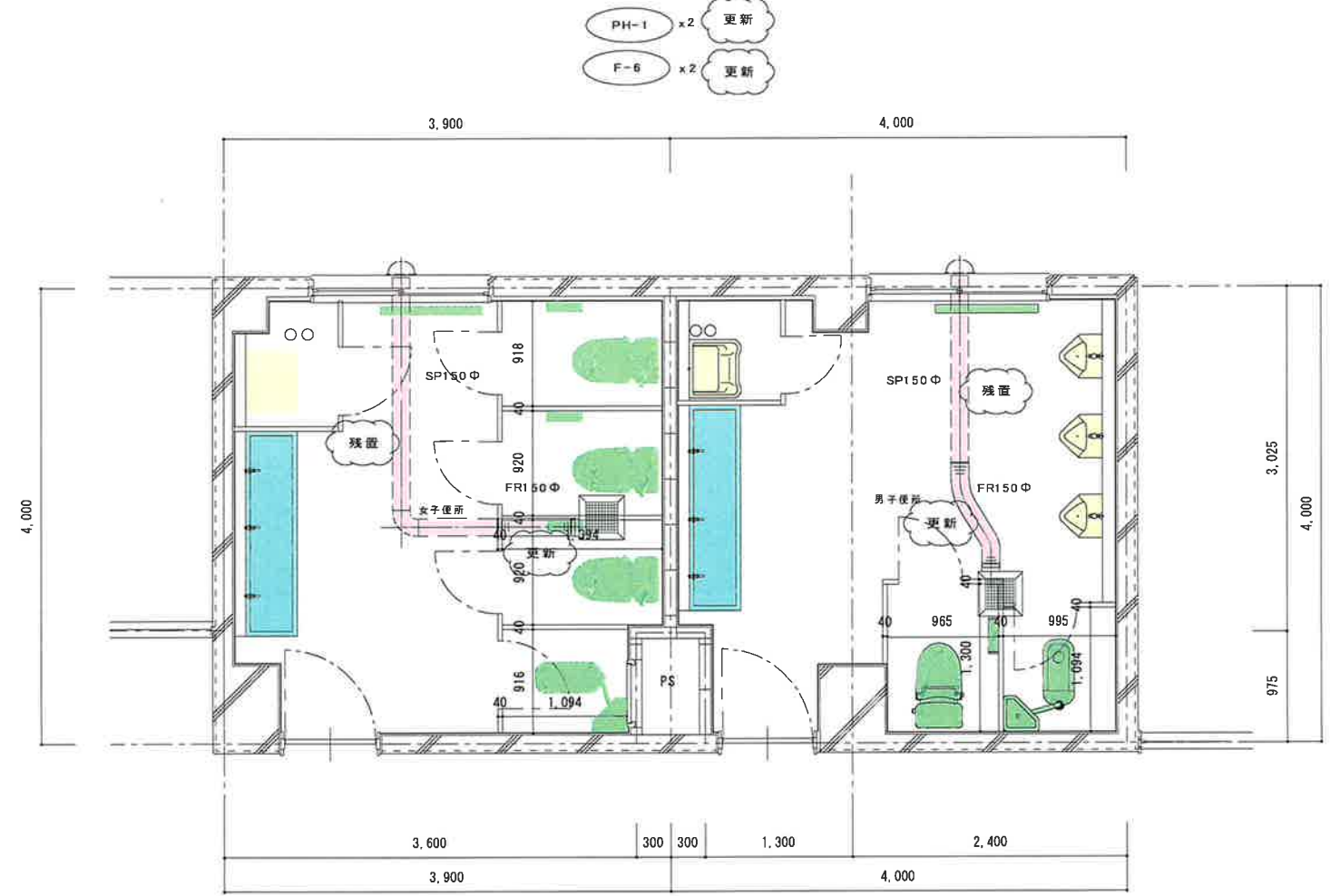
- 新設衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 既設衛生機器を示す(再利用)

改修平面図 S=1:30



- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

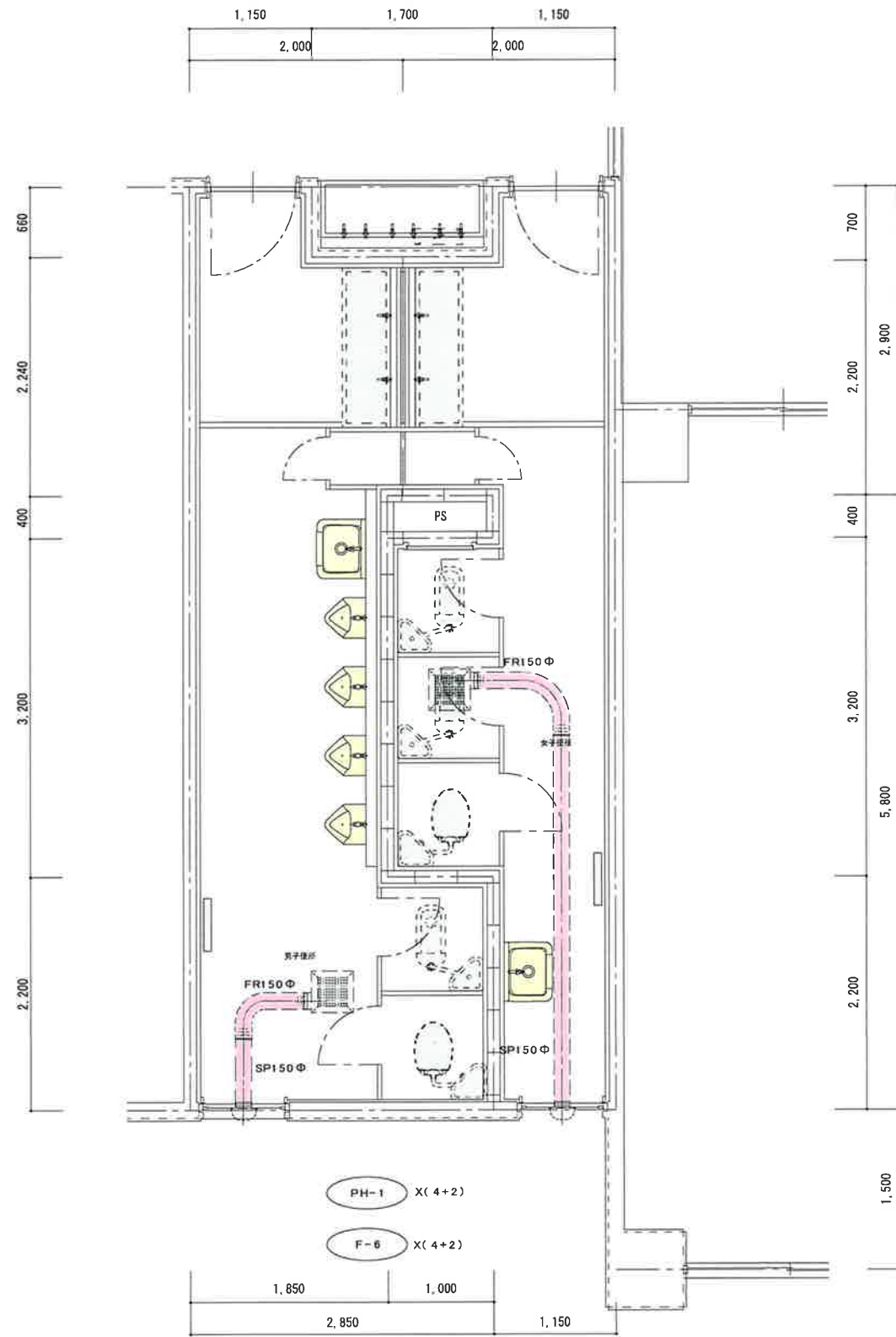
現況平面図 S=1:30



- 新設衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)
- 既設衛生機器を示す(再利用)

改修平面図 S=1:30

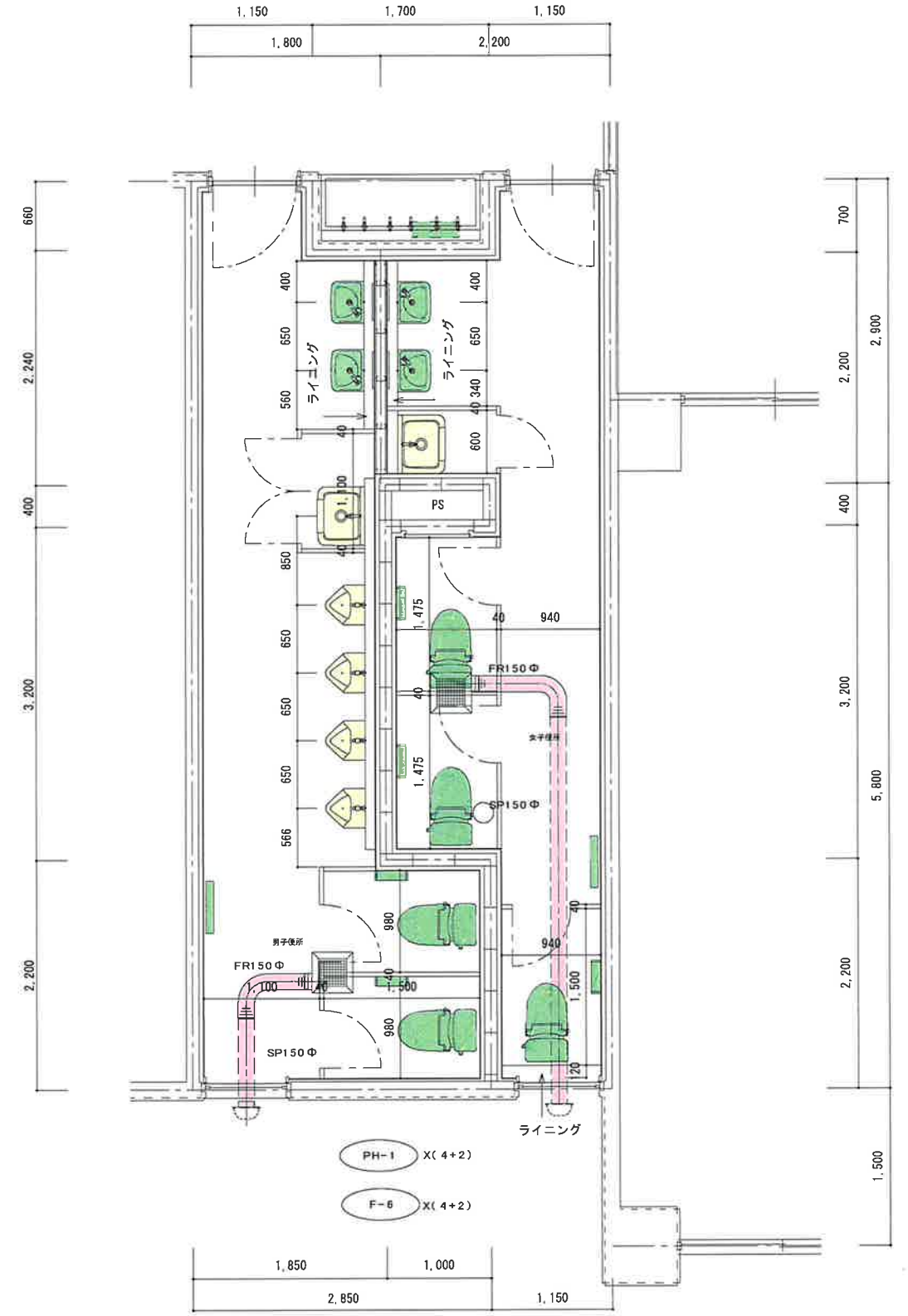




- 撤去衛生機器を示す
- 移設衛生機器を示す(再利用)

1・2階

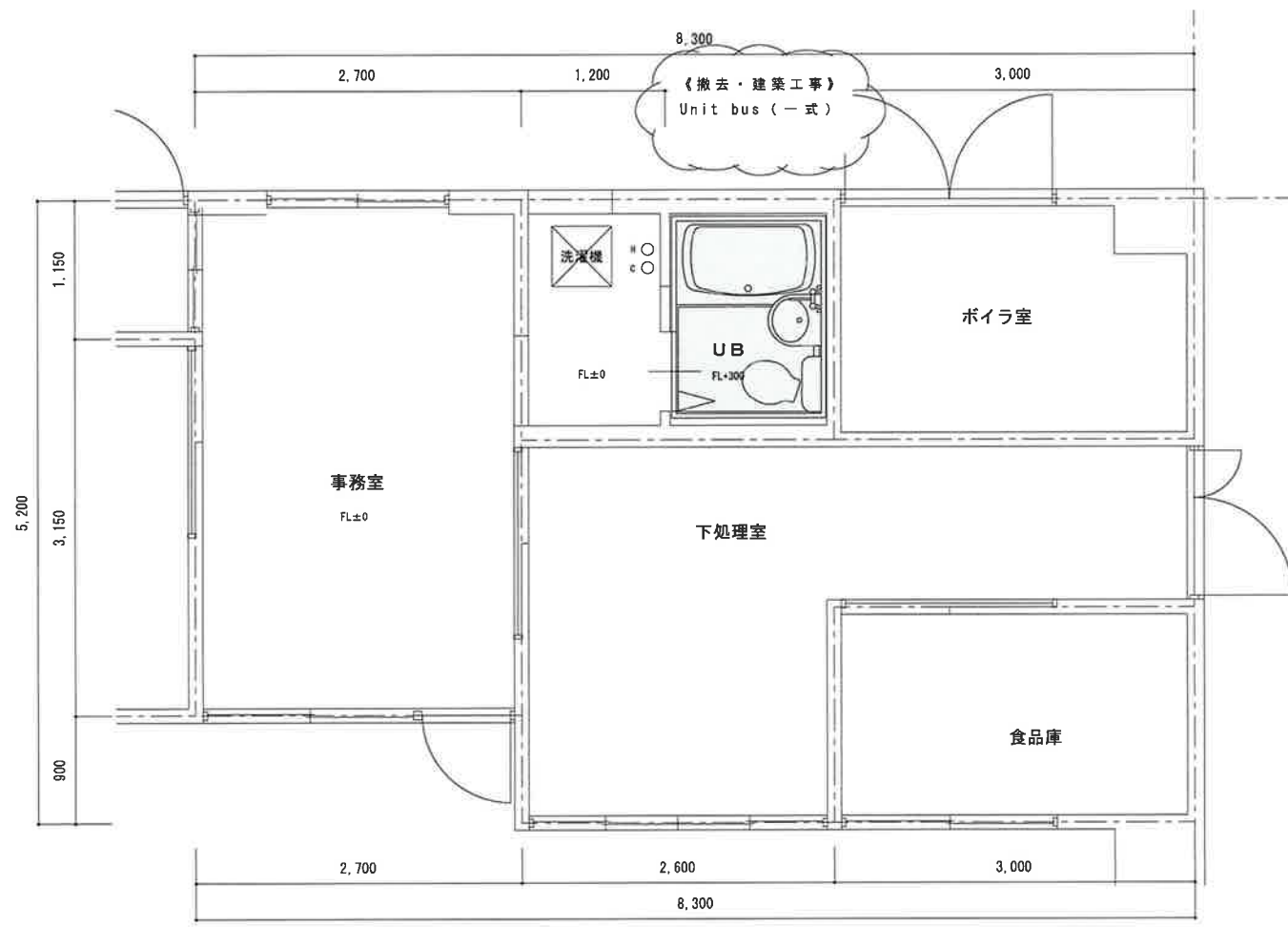
現況平面図 S=1:30



- 新設衛生機器を示す
- 既設衛生機器を示す(再利用)
- 移設衛生機器を示す(再利用)

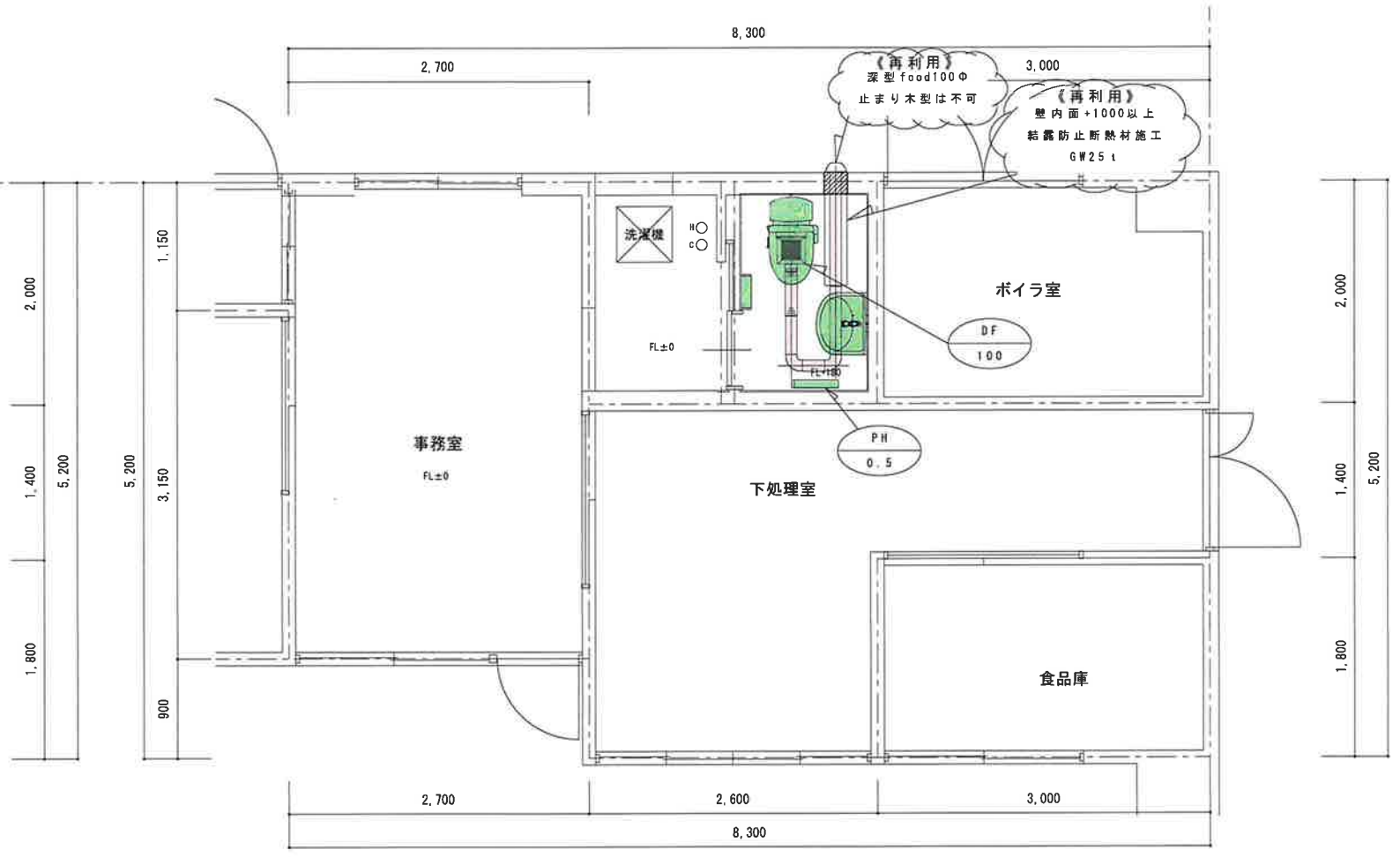
1・2階かつ7~8通り間及び19~20通り間の2箇所

改修平面図 S=1:30



撤去衛生機器を示す

現況平面図 S=1:30



新設衛生機器を示す

改修平面図 S=1:30